

会 告 目 次

IPSJ カレンダー	2
平成 8 年度役員選挙について	4
研究発表会開催通知	11
第 75 回マルチメディア通信と分散処理研究会	11
第 60 回ハイパフォーマンスコンピューティング研究会	12
第 109 回計算機アーキテクチャ研究会	12
第 6 回数理モデル化と問題解決研究会	13
第 107 回データベースシステム研究会	13
第 16 回グループウェア研究会	14
第 112 回自然言語処理研究会	14
第 25 回情報メディア研究会	15
第 50 回アルゴリズム研究会	15
第 58 回情報システム研究会	16
第 99 回コンピュータビジョン研究会	16
第 108 回ソフトウェア工学研究会	17
第 6 回プログラミング研究会	17
平成 8 年度研究会のお知らせ	21
平成 8 年度研究発表会開催予定	24
平成 8 年度研究会登録申込書	27
研究会発表申込書	28
「研究グループ」について	29
「システム評価」研究グループ新設について	29
「モバイルコンピューティング」研究グループ新設について	29
平成 8 年度シンポジウム等行事予定一覧	30
情報処理学会「行事」申込書	31
「情報処理教育と数理系カリキュラムシンポジウム」参加者募集	32
連続セミナー 95 “集中から分散へ” “マスからパーソナルへ” 参加者募集	33
情報処理学会第 52 回全国大会 (平成 8 年前期) の開催について	34
情報処理学会第 53 回全国大会 (平成 8 年後期) の開催について	34
DA シンポジウム'96」論文募集	35
Call for Participation : Multimedia Japan 96	36
IMJ96 Registration Form	37
The 1996 Asia-Pacific Software Engineering Conference	38
会員の皆様へのお知らせ・お願い	39
部だより	41
報	43
材 募 集	42
議 案 内	44

IPSJ カレンダー

★：共催

行 事 名	会 場 名	開 催 日	参加締切	掲載 ページ	担当
第 12 回オーディオビジュアル複合情報処理研究会	早稲田大	平成 8 年 2 月 16 日 (金)	当日のみ	37-1 6p	研
第 79 回グラフィクスと CAD 研究会	情報処理学会	2 月 23 日 (金)	当日のみ	37-1 6p	研
第 14 回音楽情報科学研究会	情報処理学会	2 月 24 日 (土)	当日のみ	37-1 7p	研
第 65 回ヒューマンインタフェース研究会	静雲荘	2 月 29 日 (木) 3 月 1 日 (金)	当日のみ	37-1 7p	研
第 10 回音声言語情報処理研究会	静雲荘	2 月 29 日 (木) 3 月 1 日 (金)	当日のみ	37-1 7p	研
第 75 回マルチメディア通信と分散処理研究会	創価大	2 月 29 日 (木) 3 月 1 日 (金)	当日のみ	37-2 11p	研
第 60 回ハイパフォーマンスコンピューティング研究会	札幌ソフトウェア専門学校	3 月 4 日 (月)	当日のみ	37-2 12p	研
第 109 回計算機アーキテクチャ研究会	札幌ソフトウェア専門学校	3 月 5 日 (火)	当日のみ	37-2 12p	研
第 6 回数理モデル化と問題解決研究会	電気通信大	3 月 5 日 (火)	当日のみ	37-2 13p	研
第 52 回全国大会	電気通信大	3 月 6 日 (水) ～ 8 日 (金)		37-1 9p	事
第 107 回データベースシステム研究会	情報処理学会	3 月 11 日 (月)	当日のみ	37-2 13p	研
第 16 回グループウェア研究会	野村研修センター	3 月 14 日 (木)	当日のみ	37-2 14p	研
第 112 回自然言語処理研究会	徳島大	3 月 14 日 (木) ～ 15 日 (金)	当日のみ	37-2 14p	研
第 25 回情報メディア研究会	情報処理学会	3 月 15 日 (金)	当日のみ	37-2 15p	研
第 50 回アルゴリズム研究会	中央大	3 月 15 日 (金)	当日のみ	37-2 15p	研
第 58 回情報システム研究会	日本ユニシス	3 月 19 日 (火)	当日のみ	37-2 16p	研
第 99 回コンピュータビジョン研究会	東京商船大	3 月 21 日 (木)	当日のみ	37-2 16p	研
情報処理教育と数理系カリキュラムシンポジウム	東京農工大	3 月 21 日 (木) ～ 22 日 (金)	3 月 7 日 (木)	37-2 32p	研
連続セミナー 95 生命科学とコンピュータ	工学院大	3 月 22 日 (金)	定員になり次第	37-2 33p	事
第 108 回ソフトウェア工学研究会	情報処理学会	3 月 22 日 (金)	当日のみ	37-2 17p	研
第 6 回プログラミング研究会	電気通信大	3 月 26 日 (火) ～ 27 日 (水)	当日のみ	37-2 17p	研
オブジェクト指向 '96 シンポジウム	早稲田大	7 月 8 日 (月) ～ 9 日 (火)		37-1 11p	研
★ 画像の認識・理解シンポジウム	奈良県新公会堂	7 月 17 日 (水) ～ 19 日 (金)		36-10 21p	研
第 53 回全国大会	大阪工大	9 月 4 日 (水) ～ 6 日 (金)		37-1 10p	事

【国際会議】

行事名	会場名	開催日	照会先	掲載ページ	担当
★ マルチメディア ジャパン 96	パシフィコ横浜	平成8年 3月18日(月) ～20日(水)	事務局	37-2 36p	国
★ 1996 Int'l Conference on Parallel and Distributed Systems (ICPADS '96)	ホテルストラダ 新宿	6月3日(月) ～6日(木)	事務局	36-5 8p	国
★ IFIP Congress 96-14th World Computer Congress	キャンベラ(オー ストラリア)	9月2日(月) ～6日(金)	事務局	36-5 8p	国
★ Int'l Conference on Advances in Production Management Systems (APMS '96)	京都国際会館	11月4日(月) ～6日(水)	事務局		国

【論文募集】

行事名	会場名	開催日	論文(応募)締切	掲載ページ	担当
★ 平成7年度北陸地区学生による研究発表会	石川工業高専	平成8年 3月8日(金)	平成8年 2月23日(金)	37-1 20p	陸
DA シンポジウム '96	西浦温泉	8月29日(木) ～31日(土)	平成8年 4月12日(金)	37-2 35p	研

【支部】

行事名	会場名	開催日	参加締切	掲載ページ	担当
東海支部 講演会	NTT データ通信 (株)	平成8年 3月18日(月)	定員になり次第	37-2 36p	海
北陸支部 見学会	富山県マルチメ ディア情報センター	3月22日(金)	3月15日(金)	37-2 36p	北

主1) カレンダーは本会主催・共催の行事を会告既掲載分より抜粋しています。

主2) 研究会の発表申込締切は開催日の90日前です。年間予定表および研究会発表申込書は2, 4, 8月号に掲載されています。

主3) 担当欄の記号は次のとおりです。研:研究会係, 事:事業係, 国:国際係, 編:編集係, 総:総務係, 経:経理係, 会:会員係,

北:北海道支部, 東:東北支部, 海:東海支部, 陸:北陸支部, 西:関西支部, 中:中国支部, 四:四国支部, 九:九州支部。

各行事についての問合せ等は担当係までお願いします。

平成 8 年度役員選挙について

本会定款第 20 条にもとづき、来る 5 月 20 日（月）開催の第 38 回通常総会をもって本会役員の半数が退任します。平成 8 年度の役員選挙は、2 月初旬に別途送付しました投票用紙（往復はがき）により行いますので、正会員各位は下記の要領により、同投票用紙にてもれなく投票をお願いいたします。

投票用紙記載の候補者は、有権者の参考にするために、本会理事会が推薦したものです。これらの候補者の中から選定される場合は、下記の候補者名簿をご参照のうえ投票してください。ただし、これらの候補者以外の会員（正会員に限る）を選定される場合は、それぞれの区分の空欄に氏名、所属をご記入ください。

記

- 1. 別送の投票用紙（返信はがき）の選定欄に○印をおつけください。
- 2. 副会長、監事は 1 名の単記、理事は教育分野では 3 名以内、製造分野では 4 名以内、利用他分野では 2 名以内の連記とします。これをこえた場合は無効となりますので、ご注意ください。
- 3. 改選定数は副会長 1 名、監事 1 名、理事 8 名です。
- 4. 投票の締切は平成 8 年 3 月 4 日（月）の必着といたします。
- 5. 投票用紙（はがき）は料金受取人払いですから、切手を貼付する必要はありません。
- 6. 投票用紙記載の候補者は 50 音順です。
- 7. 1 月 19 日（金）現在で本年度会費未納者には投票用紙は送付いたしません。

平成 8 年度役員改選候補者名簿

（氏名は 50 音順）

役職名	候補者名 （ローマ字） （出身校学部卒年）	勤務先および役職名 （平成 8 年 1 月現在）	略歴・専門分野等
副会長	稲垣 康善 (Inagaki, Yasuyoshi) （名大昭 37 卒）	名古屋大学工学部教授	昭 37 年 3 月名古屋大学工学部電子工学科卒。昭 39 同大学院（修），昭 42 年同大学院（博）修了。工博。名大助手，助教，三重大教授を経て，昭 63 年名大教授。 現在の専門分野：オートマトン・言語理論，プログラムの論理，知識と推論，自然言語処理など，情報処理の基礎理論。
	[抱負] 21 世紀に向けて情報科学・技術は，コンピューティング，インフォメーション・ベース，コミュニケーションが統合され，社会のあらゆる分野でその重要性が益々高まっていくであろう。 本学会は，会員数が 3 万をこす我が国で最大の情報科学・技術の学会であり，この分野の学問・技術の発展のために中心的役割をはたしていくことは本学会の責務であると考え。そのためにも学会活動の活性化の推進，国際的スタンダードに基づく研究活動の向上，将来ビジョンの策定と提言はさしあたっての重要課題であろう。		
	高橋 延匡 (Takahashi Nobumasa) （早大昭 32 卒）	東京農工大学工学部長	昭 32 年 3 月早稲田大学数学科卒。日立中央研究所を経て，昭 52 年 4 月東京農工大工学部教授で着任。企業と大学を通して一貫してソフトウェア，特に，国産 OS の研究開発に従事。 昭 49 年理事，平 5 年監事。
[抱負] 米国の情報ハイウエイ構想に対して，ユネスコは「中等教育における情報技術の教育は先進国，発展途上国を問わず，最大の政治課題である」とのアピールをしている。日本の現状を変えるには当学会の責任と役割は大きい。また，ネットワーク時代を迎えるにあたり，情報の倫理綱領を守り，PR する事が当学会の会員諸氏の地位向上に資すると考える。更に，本学会の会員の研究や開発が，21 世紀の日本の位置を決定する可能性が高いことを考えると，その活動を学会としてどのように積極的にサポートしていくかが課題と考える。 私は民間企業 20 年と大学 19 年の経験を活かして，産業界と学会（大学や研究機関など）とのコミュニケーションを通して，この分野の協調体制と活性化に寄与したい。			

発職名	候補者名 (ローマ字) (出身校学部卒年)	勤務先および役職名 (平成8年1月現在)	略歴・専門分野等
監事	木村 泉 (Izumi Kimura) (東大昭35卒)	東京工業大学大学院 情報理工学研究科教授	1935年生。1960年東大・理・物理卒。現東工大教授 (1996年3月末転出予定)。 広くコンピュータサイエンス(CS)全般に興味を持つ。現 在特に興味があるのはCS教育、HCI、および認知科学のCS 近縁部分。
	[抱負] 監事にとって一番大切なのは、常識とバランス感覚と囚われない目だと思う。一見何の問題もなさそう なところに「魔物」が隠れていて、学会の進路を大きく狂わせてやろうと狙っているかもしれない。そういう 危険を察知するための、鉱山のカナリアに似た役目と了解している。万一の場合に備えて、抜かりなく待ったが 掛けられるように、注意深く見守りたい。		
	千葉 常世 (Chiba Tsuneyo) (京大昭37卒)	(株)日立製作所 中央研究所主管研究長	昭37年京都大学工学部電子工学科卒。同年日立製作所に入社。 以来、主として大型計算機の開発に従事。ディスクファイ ル、ネットワーク等の開発にも参画。 工学博士、元本学会理事(総務担当、平元年-2年)。
教育分野	[抱負] 当学会の会員の関心分野は幅広く、当学会は各分野のプロの集まりとして、既成概念にとらわれない、 オープンで自由闊達な活動が望まれる。また、近年の情報・ネットワークの発展に伴い、情報と社会とのつなが りが一層緊密になり、情報技術者に対する期待と責務がたかまっている。このような状況下で、当学会も変革を 迫られており、魅力ある学会に向けての継続的取り組みとして、以下のことに注力したい： (1) 学会誌を分かりやすくすることに加え、技術を超えた社会との接点を含める等、記事の内容を見直すこと。 (2) 新領域、新技術へのダイナミックな取り組みを促進するため、各活動の自主的運営の仕組みを改善すること。 (3) 安定した学会運営のために財務基盤を強化すること。 いずれも難題だが、少しでも前進する様、微力ながら尽くしたい。		
	石塚 満 (Ishizuka, Mitsuru) (東大昭46卒)	東京大学工学部教授	昭46年6月東大工学部電子卒。同大学院修士、博士課程、 NTT横須賀研究所、東大生産技術研究所助教授を経て、平4 年より現職。本会では人工知能研究会前主査。現在の専門は 知能情報処理とヒューマン情報メディア環境技術。
	[抱負] ネットワークやメディア技術の進展により情報環境は大きく変化しつつあり、必要とされる情報処理技 術も変貌しつつある。新しい領域で創造的技術が生まれてくる状況にあると言えるが、我が国が世界をリードす るような創造性を発揮できるかという点、懸念される面も多い。本学会は交流、支援を通じて我が国の情報処理 技術の研究開発に少なからぬ役割を果たしているが、今後は一層、創造性、独創性が重視され、正しく評価・尊 重される風土・環境を作り上げていくことが重要と考える。新領域や国際的活動に積極的に対応するといっても、 これまでと同じやり方では経費の面で困難が生じるので、電子メディアの積極的活用とボランティア的活動を可 能とし、それが評価されるような環境を整備していく必要がある。		
理	上林 弥彦 (KAMBAYASHI, Yahiko) (京大昭40卒)	京都大学工学部教授	昭40年3月京都大学工学部卒業。昭45年同大学院博士課程修 了。昭59年九州大学工学部教授。平2年より現職。この間マ ッギル大学(カナダ)、武漢大学(中国)などの客員教授。当 学会では、昭60年-63年データベースシステム研究会主査、 平元年-3年理事、現在は調査研究運営委員会情報環境領域 委員長。ACM SIGMOD 国際顧問委員会委員(元)、ACM Transaction on Database Systems 編集委員(元)、VLDB Endowment 委員など。1995年ACM SIGMOD Contribution Award。
	[抱負] 現在は、パラダイムシフトの時代と言われているが、この状況の中心となっているのがコンピュ ータである。情報処理学会は、この変化に対応すると共に将来の変化に対応できる自由度の高い組織でなければ ならないと思う。このための組織改革について考えるべき時期といえる。新しい研究会の設立についても、単に既存 の研究会を優先するのではなく学会の将来を考えた上での検討が必要である。各研究会の独立採算性も重要であ るが、今後伸ばすべき分野を政策的に援助しなければならない。また、国際的な連携、特にアジア太平洋地区に おける他学会団体との協力関係を深めるべきで、少なくともこの地区の国際活動の中心となるようにしたいと考 えている。さらに、大会や研究会に参加しない会員へのサービスについて検討することも重要である。		

(次ページに教育分野続く)

役職名		候補者名 (ローマ字) (出身校学部卒年)	勤務先および役職名 (平成 8 年 1 月現在)	略歴・専門分野等
理事 教育分野		白鳥 則郎 (SHIRATORI NORIO) (東海大昭 47 卒)	東北大学 電気通信研究所教授	昭 21 年生まれ、昭 52 年東北大学大学院博士課程修了、昭 59 年東北大学助教授（電気通信研究所）、平 2 年東北大学教授（工学部）平 4 年東北大学教授（電気通信研究所）。情報通信システム、自律分散協調コンピューティング、やわらかい情報処理。
		[抱負] 21 世紀における高度情報化社会の基盤となる新しい情報システムの構築へ向けて、これまでの合理性（効率・高機能・経済性）に基づいた研究・開発の方法論を越えて、人間と環境が共生するための新しいパラダイムが求められている。このような新しい情報システムを模索するために、情報処理学会の果たす役割は大きく、ベテラン会員の英知と若手会員の新鮮で多彩な力の統一的な融合が基本となる。特に、本学会の将来を考える上で、その担い手となる若手学会員による会誌、論文誌、国際会議、シンポジウム、研究会、全国大会などの「場」の活性化が肝要となる。また、新しい情報システムの構築には、情報関係の分野だけでなく、広く老若男女の啓蒙と「場」への参加が重要となる。このような状況において、教育と研究を中心とした大学の視点に加えて、一般の老若男女の視座から情報処理学会の将来を考え、これを通して、微力ながら日本のためにお役に立てれば幸いである。		
		西尾章治郎 (NISHIO, Shojiro) (京大昭 50 卒)	大阪大学工学部教授	昭 50 年 3 月京都大学工学部数理工学科卒業。昭 55 年 3 月同大学院博士課程修了（工学博士）。同大工学部助手、大阪大学基礎工学部および情報処理教育センター助教授を経て、平 4 年より現職。データベースシステム技術に、知識処理技術、マルチメディア情報処理技術、計算機ネットワーク技術を融合する研究を行なっている。
		[抱負] 現在、情報処理関連の学会が本学会をはじめとしていくつかあるなかで、本学会が直面している最重要課題は、「情報処理分野の発展のために、本学会が真にどのような貢献ができるか」ということである。そのためには、ともすればマンネリ化しつつある学会の活性度をいかに向上できるかが大きな課題であるが、特に会員の大半を占める企業の方々にとってどれだけ魅力的な学会にできるかということが重要であると考えている。その具体的な方策として、例えば、現在の研究会活動、全国大会を企業サイドにとってもさらに有意義なものにすることを真剣に考えていく必要がある。次に、本学会が創造的な研究成果を大量に発信することによる情報処理分野への貢献が考えられるが、本学会と同規模の学会と比べると、論文誌を大幅に充実することが必須と考えられる。財政的な問題はあるものの、本年度から試行されている領域制と連動して、例えば、研究領域ごとの分冊化をはじめとする論文誌の充実を図り、より魅力あるものにしていきたい。		
		牧之内顕文 (MAKINOUCHI AKIFUMI) (京大昭 42 卒)	九州大学工学部教授	1967 年京都大学工学部電子工学科卒、1970 年グルノーブル大学（仏）大学院応用数学専攻 Docteur-Ingénieur 課程修了。Docteur-Ingénieur、1970 年－1989 年 富士通（株）及び（株）富士通研究所にてソフトウェアの研究開発に従事。その間、1985 年に工学博士（京都大学）、1989 年－九州大学工学部教授（情報工学科）。データベースシステム、データベース言語について研究している。
		[抱負] 本学会の会員数増加の停滞、企業技術者の学会離れがあると聞いております。本学会を取り巻くこのような環境の変化に対応するため、19 年間の企業での経験と 6 年間の大学での経験とを生かし、次の点で学会運営に貢献したいと考えます。 (1) 必ずしも研究者ではない会員にとっても役に立つ新鮮な情報を世界に遅れないで提供できる環境をつくる。 (2) 大学・国・企業の研究者に質の高い研究発表の場を提供できる環境をつくる。 (3) 国際化をより一層推進し、アジアを代表する競争力ある学会に育てる。特に、企業の海外進出と近隣諸国の経済発展に対応すべく、それら諸国の研究者・技術者へのサービスをも視野に入れた学会にする。		

変職名	候補者名 (ローマ字) (出身校学部卒年)	勤務先および役職名 (平成8年1月現在)	略歴・専門分野等
里 育 分 野	宮原 秀夫 (Hideo Miyahara) (阪大昭42卒)	大阪大学基礎工学部教授	昭42年大阪大学工学部通信工学科卒、昭47年同大学院修了、昭48年京大助手、昭55年大阪大学基礎工学部情報工学科助教授、昭62年同教授、平7年から同大型計算機センター長、昭58－59年米国IBMトーマスワトソン研究所客員研究員、超高速ネットワーク、マルチメディア、システム性能評価の研究に従事。
	[抱負] 学会にとって一番大切なのは、その学会がその分野において学問的、研究的にいかにより高い評価を受けるかである。それには多くの論文投稿および、それらに対する適正な査読システムが必要である。しかし、これらはしばしば相反する。よい論文を選択しようとするあまり、採否の決定をするまでに多くに時間がかかってしまうことがある。これは研究者の投稿意欲を著しく損なうことになる。また学会がカバーする分野についても柔軟に対応していくことが大切である。理論的ものばかりに偏ることなく、応用、開発研究に関するものも積極的に取り上げるようにし、多くの研究者の投稿意欲をかきたてるような学会にしたい。		
製 造 分 野	片岡 信弘 (Kataoka Nobuhiro) (阪大昭41卒)	三菱電機(株) 情報システムセンター 情報システム技術部長	昭43年大阪大学工学部電子修士課程卒。同年三菱電機に入社。汎用機OS、DBMS、OLTP、自治体向け業務パッケージの開発に従事。平5年より現職。社内情報システムのオープンプラットフォームでの再構築に取り組んでいる。
	[抱負] 現在、情報処理技術はインターネット、マルチメディアに代表されるように、かつてない急速な速度で進化を遂げている。この技術には2つの側面があり、1つは製品技術そのものであり、もう1つは、これを使いこなす技術である。この2つが相互にインパクトを与え、現在の進化の大きな原動力となっている。しかし残念ながらパソコンのOS、マイクロプロセッサ等の新しい技術の発信はほとんどが米国であり、日本はこれの後陣に甘んじているのが現状である。利用技術の面でも欧米に比してまだまだ低い水準にある。例えばオフィスでのこの活用の差がホワイトカラーの生産性の大きな差となって現れている。 このような中で、情報処理学会が、世界の情報技術のこの両面でのリーダーとなっていくこと、また大学、研究所とともに、企業のSE部門、エンドユーザ部門にも広く受け入れられる学会活動としていくことが重要である。このような課題の解決に向けて会員各位とともに努力していきたい。 現在、ヒューレット・パッカード（HP）社の日本研究所の所長。1993年までは26年間NTTに勤務し、その大半を研究所で過した。NTTの研究所では画像処理、コンピュータグラフィックス、ファクシミリ、ローカルエリアネットワーク、ビデオテキストなどに関連した研究に従事し、最後の3年間はNTTヒューマンインタフェース研究所長を務めた。京都大学電子工学科より学士（1961）、修士（1963）を、米国のイリノイ大学電気工学科よりPhD（1966）を取得した。 [抱負] NTTを辞し、ヒューレット・パッカードに移ってからほぼ3年になった。片足をシリコンバレーに、もう一方を東京においたような（ただし軸足は東京にしている）生活を続けている。こういう生活をしていると、どうしても種々の点で日本と米国を比べて考え勝ちになるが、いま最も気になっているのが日本の国際化と情報化への遅れである。学会役員として取り組みたいのは、この2点に関して情報処理学会として何をすべきか、何ができるかである。 国際化については論文誌や研究会予稿などが日本語で書かれていることの意義に関する再検討である。情報工学、コンピュータサイエンス（この2つは同じなのか違うのか）の分野で世界に通用しない論文に意義があるのかという点である。 情報化については情報化社会と呼ばれるようになって久しいが、日本の社会において本当に情報化が進んでいるのか。たとえば履修届等がe-mail化されている大学はいくつあるのか。社報が完全にe-mail化されている会社はいくつあるのか。会議室にはOHPや種々のAV機器が配備されているのが当然という会社はいくつあるのか。社会の情報化をお手伝いするのも情報処理学会の大切な役割ではなからうか。		

(次ページに製造分野続く)

役職名	候補者名 (ローマ字) (出身校学部卒年)	勤務先および役職名 (平成8年1月現在)	略歴・専門分野等
理 事 分 野	河田 亨 (Toru Kawata) (阪大昭41卒)	シャープ(株)取締役 技術本部副本部長	昭41年3月大阪大学工学部卒。昭60年同大工学部電子工学科助教授。同年シャープ(株)入社。技術本部コンピュータシステム研究所副所長。昭62年同研究所長。平2年同技術本部情報技術開発センター所長。平3年同技術本部副本部長。平5年取締役技術本部副本部長。同年ソフトウェア研究所所長兼任。現在に至る。
	[抱負] パソコンの高機能・高性能化と普及が同時進行する中で“マルチメディア”に代表されるコンピュータ技術(デジタル技術)のあらゆる産業・社会生活への普及が始まっている。このようなハードの普及が促進される中、ソフトウェアの革新が極めて重要になってきた。社会が求める(目指す)新しいサービス・機能と、ユーザとシステムのより自然な対話環境の創出に向け、産業界がフィールドワーク(市場でのユーザの活動状況の調査・分析・将来予測)を通してソフトウェアモデルの原型を考察し、大学・研究機関の学術研究につなげ、また学術研究で得られたモデルの実環境への適用を通して、モデルの改良、新モデルの創出につなげてゆく社会的使命を果たせるよう尽力したい。特に、産業活動、学術活動、社会活動の上記の意味の循環の中で、情報処理学会が世界のソフトウェア技術のリーダーとしての立場を維持できるよう積極的に潤滑油の役目をしたい。		
	杉本 和敏 (Kazutoshi Sugimoto) (早大昭51卒)	日本アイ・ピー・エム(株) 東京基礎研究所研究部長	昭53年早稲田大学理工学部修士課程卒。同年日本IBM入社。CG、画像処理、モバイル・システムの研究に従事。昭59年米国ブラウン大学客員研究員。平3年本会論文賞受賞。平4年より東京基礎研究所研究部長。
	[抱負] 我が国が21世紀に向けて情報技術の分野を世界的にリードしていくためには、本学会が中心となって技術レベルの向上と国際化の推進を図っていく必要があり、その役割と責任は非常に大きい。技術レベルの向上を目指すには、大学、研究機関、企業の研究者や開発エンジニアが積極的に参画し、真の技術討論が自由にできる研究会などの場を提供することが必要である。さらに、それらの場の国際化を進め、組織間や国の壁を越えて世界の一流の研究者たちと技術討論や交流ができるようにすることは、特に若い研究者やエンジニアの育成としても重要だと考える。また、ネットワークを通じての世界への情報発信や最先端の生きた情報交換など国際的な学会活動を積極的に推進し、世界から高く評価される学会にしていける必要がある。このような観点から本学会をさらに魅力ある組織にするために努力していきたい。		
	杉山 公造 (Sugiyama Kozo) (名大昭44卒)	(株)富士通研究所 情報社会科学研究所 主席研究員	昭49年名古屋大学理学部博士課程修了(理博)。富士通、富士通研究所において社会システム、ビジュアルインタフェース、創発メディア環境等の研究開発に従事。第一研究部長等を経て平6年より現職。昭57年オーストリア国際応用システム解析研究所研究員。平5年計測自動制御学会著述賞受賞。
	[抱負] 21世紀は情報革命の時代といわれます。ネットワーク、マルチメディア、ubiquitous computingなどに代表される情報技術が社会全般に普及・浸透し、政治、経済、教育、学術、産業、生活などに大きな変化をもたらすとともに、組織のあり方や個人の価値観については文化そのものをも変えることが予想されています。また情報技術をめぐる国際的な競争が激化するなかで、情報化による国際化が益々進展すると考えられます。このような時代を迎え、我が国の情報処理技術の中核を担う本学会にかかる期待と責務はますます高まるものと思われます。一方、ネットワーク社会の進展に伴い学会という手段以外の迅速で楽しく有用な情報ソースや交流の場が広がりいわゆる学会離れなども変化の一つとして起こる可能性もあります。どのようにして時代を先取りし魅力ある学会として対応していくのか、いまから準備すべき重要な課題だと考えます。ネットワーク、メディア利用の新しいコミュニケーション形態、アジア圏のセンター誌の検討など斬新なアイデアを練っていく時期だと考えます。		

役職名	候補者名 (ローマ字) (出身校学部卒年)	勤務先および役職名 (平成8年1月現在)	略歴・専門分野等
製造分野	塚田 啓一 TSUKADA KEIICHI (早大昭35卒)	松下電器産業(株) 東京通信システム研究所 所長	1965年 早大大学院博士課程修了 日電公社入社 各種通信新サービスの研究実用化を経て、初代のヒューマン インタフェイス研究所長 1990年 松下電器産業入社 1992年現職 広帯域ネットワーク映像圧縮と蓄積検索の研究に従事
	[抱負] 我が国の情報処理系の学会の共通の問題点は専門分野の重複する学会が共存し、同じテーマで研究会が開かれ、同じ人がちょっと内容を変えて話をするなど、論文や発表の水増し現象が見られること。 そのうえ研究者が重複して年会費を払わねばならないという不満が聞こえてきます。しかしこのような状況もペーパーレス化、ネットワーク化で大きな変貌が確実ですので率先して対処していきたいと思います。 学会の使命の第一は新しい研究テーマをすばやくキャッチし育てていくことです。そしてその研究の渦の中心になって大きな発展に貢献することです。そのような行動のしやすい自由な環境を学会の中に確立したいと思っています。 以上を電子情報通信学会、計測制御学会ヒューマンインタフェイス部会の運営に携わった経験を生かして実現したいと考えています。		
利用分野	藤林 信也 (SHINYA FUJIBAYASHI) (京大昭41卒)	日本電気(株) C & Cマルチメディア 事業推進本部 主席技師長	昭41年京都大学工学部卒、昭43年同大学院修士課程修了。 同年日本電気(株)入社。 中央研究所にて、プログラミングシステム、ソフトウェア開 発支援システム、オープンシステム基盤ソフトウェア等の研 究開発、指導に従事。オープンシステム基盤開発研究所長を 経て、平7年より現職。 元学会誌編集委員。
	[抱負] 昨今のインターネットを始めとするマルチメディア技術の進展と普及は著しく、新しいライフスタイルや社会システムの創造に向けた大きな潮流を実感します。この中にあって、情報処理に関する学術と技術の専門学会である当学会の先導的役割と期待は益々大きくなっています。この為には、特に、現実社会のニーズに根ざした研究開発や理論の実際への適用、産業界技術者と大学、研究機関の研究者の更なる交流がこの分野の発展に不可欠と考えています。また、情報処理技術の社会への広範な普及状況を見るとき、学会は専門家の技術交流の場にとどまらず、広く技術の啓蒙、普及活動の先導役も果たすべきと思います。さらに、学会自らがその活動遂行において、可能な限りこの先端的情報処理技術を学会員と共に使いこなしていく姿勢も必要です。このような期待に応えるべく学会の発展に微力ながら貢献したいと考えます。		
利用分野	江原 暉将 (EHARA TERUMASA) (早大昭42卒)	NHK放送技術研究所 先端制作技術研究部 主任研究員	昭42年早稲田大学理工学部卒。NHK入局。番組制作の現場を経て、放送技術研究所に勤務。かな漢字変換、静止画検索、衛星放送システム、機械翻訳などの研究に従事。その間、自動翻訳電話研究所に外向。学会誌編集委員、論文誌査読委員。
	[抱負] 情報処理技術が社会で広く利用されるようになったにもかかわらず、本学会の活動が沈滞傾向にあるように思う。これを克服し、生き生きとした学会とするために、特に以下の3点に力を入れたい。 (1) 著作権問題など、情報内容そのものに関係した活動を増やす。情報処理技術から見て、ユーザである情報内容を扱う人間の視点を学会運営に生かしたい。 (2) 電子化による情報流通を増加させる。学会内での最大の情報流通機構である学会誌が、予算の制約もあり十分に機能を果たせない状況にある。この点を電子化によって克服する。「学会に入っていてよかった」と思える情報を提供できるようにしたい。 (3) 日本の学会としての独自性を発揮させる。日本文化に根ざした学会活動を掘り起こし、結果として独自性のある情報処理技術の発展に寄与したい。		

(次ページに利用他分野続く)

役職名	候補者名 (ローマ字) (出身校学部卒年)	勤務先および役職名 (平成8年1月現在)	略歴・専門分野等
利用 他 分 野	鈴木 健二 (SUZUKI KENJI) (早大昭44卒)	国際電信電話(株) 研究所次長	早稲田大学にて、磁気記録方式の研究に従事。昭51年KDD入社以降、研究所にて、バケット交換方式、OSI(開放型システム間相互接続)、ATM(非同同期転送モード)、高速・分散処理の研究開発に従事。元学会誌編集委員、元研究会幹事。
	[抱負] ここ2、3年、研究会の幹事、全国大会／ワークショップの座長、国際会議の実行委員長などを経験する中で、いくつかの問題点に直面しています。これらの中で、私は、 (1) 若手研究者の研究が論文誌投稿にまで結実していない現状を克服し、論文誌投稿を促進させる。 (2) 研究会や全国大会の運営においては、例えば、全国大会のセッションには、異なったテーマが混在してなかなか議論にならない、年輩の専門家が集まらない、午後の最終セッションや最終日には人が集まらないなどの弱点も散見される。このため、座長裁量により総括・招待講演を導入するなどセッション運営の創意・工夫を支援し、活性化のための努力を進める。 (3) 研究者の国際交流を進め、IEEEやIFIPなどとの交流に加え、アジア地域の研究者とも積極的な交流を深める。ただし、国際会議の日本招請については、財務的な裏付けなど、慎重に対処することが必要と考える。		
	諏訪 基 (SUWA MOTOI) (東大昭43卒)	電子技術総合研究所 情報科学部長	昭43年3月東京大学工学部卒。電総研にて、コンピュータビジョン、ヒューマンインターフェース、知識ベースシステムなどの研究開発、ならびに認知科学の研究などに従事。平4年現職。昭63年ー平元年には人工知能と知識工学研究会主査。
	[抱負] 情報システムがこれからのわれわれの社会生活の基盤として不可欠なものになることは疑いありません。それにもかかわらず、その根幹となるソフトウェア技術をわが国自ら生み出し世界をリードしていこうという研究現場の意気込みが、研究開発のスポンサーに理解して貰えていない昨今の状況は、大変由々しき問題ではないでしょうか。スポンサーが悪いのか、研究現場が信頼されるに足る成果を出してこなかったからなのか。実はそのどちらかだけのせいではなく、わが国には、真の意味でのソフトウェア研究を推進するためのノウハウがまだないからではないでしょうか。物理系の学問のノウハウを流用してみてもうまいかないのは当然です。このことを踏まえて、学会活動を考え直してみたいと思っています。		
	村上 憲也 (MURAKAMI KENYA) (室蘭工大昭44卒)	NTTデータ通信(株) 技術開発本部 技術企画部 技術戦略担当部長	昭44年電電公社(現NTT)入社、武蔵野電気通信研究所音声処理技術、特に音声認識・合成技術の研究と音声処理システムの開発に従事。昭56年に音声照会通知システム(ANSERシステム)を開発・実用化。
	[抱負] 情報処理学会というと、従来はソフトウェア関連の学会であるという印象であったが、昨今の著しい技術の進展と研究分野の拡大により、研究活動や学会活動が学際的性格を要求されるようになってきていると感じられる。従来は個別に扱っていた各種の情報は各々が相互に関連を持ち、かつ互いの情報の協調と調和が重要であることを強く感じる。学会役員に関しても各々の出身母体や役目を尊重しつつ、連携のとれた協調性のある開かれた学会にすべく努力したいと考えている。特に若い研究者が自由に活発な討論のできる場としての全国大会や研究会であることが望ましく、形に囚われず開かれた学会となるような努力・協力をしたいと考えている。		

[参考]

平成8年度留任役員名簿					退任役員名簿				
役員名	氏名	勤務先			役員名	氏名	勤務先		
会長	野口正一	日大			副会長	長尾真	京大		
副会長	鶴保征城	NTTデータ			監事	発田弘	N E C		
監事	牛島和夫	九大			理事	荒川弘熙	NTTデータ		
理事	高橋栄	日立			理事	池田克夫	京大		
理事	田中譲	北大			理事	池田俊明	日立		
理事	塚本享治	電総研			理事	岩野和生	日本IBM		
理事	槻木公一	鉄道総研			理事	浦野義頼	K D D		
理事	富田眞治	京大			理事	笥捷彦	早大		
理事	船津剛男	東芝			理事	川圭一	三菱		
理事	松田晃一	N T T			理事	村岡洋一	早大		
理事	真名垣昌夫	N E C			理事	森田修三	富士通研		

研究発表会開催通知

(平成8年2月29日～3月31日)

◆第75回 マルチメディア通信と分散処理研究会

(発表件数：18件)

(主査：白鳥則郎，幹事：小花貞夫，柴田義孝，菅野政孝)

日 時 平成8年2月29日(木) 13:00～17:30

3月1日(金) 10:00～16:45

会 場 創価大学 工学部棟 E207 教室

[東京都八王子市丹木町 1-236. JR: 八王子(北口)下車, または京王線: 京王八王子下車, 西東京バス(16番乗り場, 谷野町・東京富士美術館経由, 杏林大学行, 純心学園行, 戸吹行): 創価大学正門下車. Tel.(0426)91-8026 (勅使河原)]

義 題

2月29日(木)

- 1) 相互運用性試験に対する試験系列生成方式の検討 坪根宣宏, 土岐田義明(AIC)
- 2) トランスポート適合性試験スイートの複雑度による評価 若杉忠男(若杉コンサルタントオフィス)
- 3) インターネットにおけるトラフィックの収集と解析 串田高幸, 佐藤卓由, 山内長承(日本IBM)
- 4) インターネット上の動画転送を意識した動的QoS制御 山内長承, 河内谷清久仁, 串田高幸(日本IBM)
- 5) 分散処理用クラスライブラリによるプログラム開発環境の分散化 鈴木寿郎(沖テクノシステムズラボラトリ)
- 6) 網管理エキスパートシステムのためのSNMP通信スタブ生成ツールの実装 松本一則, 橋本和夫, 谷戸文廣, 小花貞夫(KDD)
- 7) 招待講演(16:30～17:30): タイトル未定 未定

3月1日(金)

10:00～12:00]

- 8) イーサネットLAN上におけるTCCS実現のための帯域・ディレー予測/制御について 中野宣政(三菱電機), 安藤 勉, 佐藤文明, 水野忠則(静岡大)
- 9) 連続メディア転送のための動的レート制御法の性能評価 渡辺光輝, 知念 正, 橋本浩二, 柴田義孝(東洋大)
- 10) ギガビットLANのための適応型帯域割り当て方式 小山明夫, 丹野州宣(山形大), 野口正一(日大)
- 11) ATM網におけるABR(Available Bit Rate)上のTCPの動作解析 阿野茂浩, 長谷川亨, 加藤聰彦(KDD)
- 12) 分散RAID型V.O.D.におけるデータ配置問題について 清水 洋(静岡大), 中村俊一郎, 峯村治実, 山口智久(三菱電機), 渡辺 尚, 水野忠則(静岡大)
- 13) 衛星通信利用データ配布サービスの検討 田中功一, 齊藤正史(三菱電機), 中原昭次郎(ディ・ディ ネットワーク)
- 14) 創造性助長をめざす遠隔協同授業システムの構築 太細 孝(三菱電機), 横地 清(北京師範大), 小泉寿男(三菱電機)
- 15) 電子匿名アンケート機構の設計と実装 横川典子, 村井 純(慶大), 菊池浩明(東海大)
- 16) 実行環境を考慮した分散型マルチメディアシステムにおける音声調整機構の実現 保理江大作, 藤川和利, 今井正和, 鳥野 武(奈良先端大)
- 17) 事例再利用に基づくマルチメディアオーサリング支援環境の構築 松田一裕, 徳田佳一(東北大), 李 殷碩(韓国成均館大), 白鳥則郎(東北大)
- 18) マルチエージェントによるUI開発支援法の提案 徳田佳一(東北大), 李 殷碩(韓国成均館大), 白鳥則郎(東北大)

2月29日の研究会終了後, 懇親会を行います。皆様ご参加ください。

◆第 60 回 ハイパフォーマンスコンピューティング研究会

(発表件数：16 件)

(主査：野寺 隆，幹事：佐藤三久，寒川 光，長嶋雲兵)

第 3 回「ハイパフォーマンス・コンピューティングとアーキテクチャの評価」に関する

北海道ワークショップ (HOKKE-96)

ー計算機アーキテクチャ研究会 (後記参照) と連続開催ー

日 時 平成 8 年 3 月 4 日 (月) 9 : 00 ~ 17 : 40

会 場 札幌ソフトウェア専門学校

[札幌市中央区北 5 条西 13 丁目。JR : 札幌下車，駅前五番館 SEIBU デパート南側より市営バス (51, 52, 58 番) : 北 5 条西 13 丁目下車，徒歩 1 分。または地下鉄 (東西線) : 西 11 丁目下車，徒歩 13 分。Tel.(011)231-7085]

議 題

[9 : 00 ~ 11 : 05] ● HPC-1

- (1) N 体問題高速化アルゴリズムの検討 濱口信行 (日立)
- (2) 超並列計算機 SR2001 による最短経路問題の解法について 江丸裕教，高井昌彰 (北大)
- (3) BiCGSTAB (I) 法の収束特性について 野口雄一郎，稲津隆敏，野寺 隆 (慶大)
- (4) マルチグリッド前処理付 Bi-CGSTAB 法 前田一穂，小柳義夫 (東大)
- (5) 強制疎化 LU 分解による回路シミュレーション 須田礼仁，小柳義夫 (東大)

[11 : 25 ~ 12 : 40] ● HPC-2

- (6) 分散メモリ型並列計算機による高速多倍長計算 高橋大介，金田康正 (東大)
- (7) ATM 接続された複数の並列計算機による有限要素法並列化 福盛秀雄，西松 研，水野裕識，村岡洋一 (早大)
- (8) 有限要素法要素分割の並列化 河野洋一，西松 研，福盛秀雄，村岡洋一 (早大)

[14 : 00 ~ 15 : 15] ● HPC-3

- (9) 分子動力学法コードのベクトル並列化 田中靖久，横川三津夫，蕪木英雄 (原研)
- (10) 並列部分問題探索法による組合せ最適化問題の並列処理 吉松敬仁郎，安浦寛人 (九大)
- (11) 疎結合並列処理システムを用いた三次元 X 線 CT 像の再構成 佐々木徹，福田安志 (ソニー)

[15 : 35 ~ 17 : 40] ● HPC-4

- (12) C++ 言語による逆関数の級数展開 平山 弘，田口靖之 (神奈川工科大)
- (13) 並列 FFT クラスの試作 高橋 毅，山口隆弘 (アドバンテスト研究所)
- (14) 統計的手法による計算機システムの評価 井須芳美，長嶋雲兵 (お茶の水女子大)，関口智嗣，佐藤三久 (電総研)
- (15) ネットワーク数値ライブラリ Ninf におけるメタサーバアーキテクチャ 中田秀基 (電総研)，草野貴之，松岡 聡 (東大)，佐藤三久，関口智嗣 (電総研)
- (16) 並列・分散システム性能評価用ツール群 - TEA Library - の設計 関口智嗣，佐藤三久，中田秀基 (電総研)，長嶋雲兵 (お茶の水女子大)，朴 泰祐，中村 宏 (筑波大)

◆第 109 回 計算機アーキテクチャ研究会

(発表件数：16 件)

(主査：島田俊夫，幹事：木村康則，関口智嗣，中島 浩)

第 3 回「ハイパフォーマンス・コンピューティングとアーキテクチャの評価」に関する

北海道ワークショップ (HOKKE-96)

ーハイパフォーマンスコンピューティング研究会 (前記参照) と連続開催ー

日 時 平成 8 年 3 月 5 日 (火) 9 : 00 ~ 17 : 40

会 場 札幌ソフトウェア専門学校 (所在地は前記参照)

議 題

[9 : 00 ~ 10 : 40] ● ARC-1

- (1) 形式的手法によるキャッシュ・プロトコルの設計検証ー超並列計算機 JUMP-1 への適用例ー 福島直人，浜口清治，富田眞治，矢島脩三 (京大)
- (2) 機能別並列計算機におけるタスクの分割・並列実行 太田充彦，河野通宗，前沢敏行，安西祐一郎 (慶大)
- (3) リアルタイム信号処理用マルチプロセッサにおける動的負荷分散方式の評価 高橋正人，青山和弘，高野博行，宮田裕行 (三菱電機)
- (4) 並列 OS の性能予測を可能にするシミュレーションモデル 信国陽二郎，松本 尚，平木 敬 (東大)

[11 : 00 ~ 12 : 40] ● ARC-2

- (5) ループ並列実行時間の下限を算出する一手法 中西恒夫，城 和貴 (奈良先端大)
- C. D. Polychronopoulos (CSRD / イリノイ大)，福田 晃，荒木啓二郎 (奈良先端大)

(6) 並列計算機システム FOLON の通信ライブラリの設計と評価

上田 学, 菊地賢太郎, 土山了士, 小林一成, 大原拓三, 外山孝伸, 上田和紀 (早大)

(7) マルチスレッド言語のための実行時ライブラリの実装

堀 敦史, 手塚宏史, 石川 裕 (RWCP), 曾田哲之 (SRA), 小中裕喜, 前田宗則 (RWCP)

(8) 共有メモリ型並列計算機における多重ループステーキングによるパイプライン実行

金丸智一, 古関 聰 (早大), 小松秀昭 (日本 IBM), 深澤良彰 (早大)

[14 : 00 ~ 16 : 05] ● ARC-3

(9) ロード・アドレス予測方法の検討

勝野 昭, 木村康則 (富士通研)

(10) マルチスレッドアーキテクチャに於ける動的命令発行に関する研究

細江広治, 市川周一, 島田俊夫 (名大)

(11) 分岐パス情報に基づく分岐予測方式の提案

岩田 靖, 勝野 昭, 木村康則 (富士通研)

(12) 拡張ハイパーキューブに関する研究

松本明子, 岡本秀輔, 曾和将容 (電通大)

(13) VLIW フェッチ PN 実行を行うプロセッサの設計

岡本秀輔, 曾和将容 (電通大)

[16 : 25 ~ 17 : 40] ● ARC-4

(14) VPP500 におけるブロック三重対角行列の直接解法の並列化

住吉光介, 戎崎俊一 (理研)

(15) CP-PACS パイロットモデルにおける Linpack ベンチマークの高速化

曾根 猛, 服部正樹, 朴 泰祐, 中村 宏, 中澤喜三郎 (筑波大)

(16) 超高速分子軌道計算専用機 MOE の開発

長嶋雲兵 (お茶の水女子大), 小原 繁 (北海道教育大釧路分校), 村上和彰, 吉井 卓, 白川 堯 (九大)

網崎孝志 (島根大), 北村一泰, 高島 一 (大正製薬), 田辺和俊 (物質研)

◆第6回 数理モデル化と問題解決研究会

(発表件数: 4 件)

(主査: 中森真理雄, 幹事: 白石洋一, 伊達 博)

日 時 平成8年3月5日(火) 13:30 ~ 17:00

会 場 電気通信大学 情報工学科 西9号館 3F AV ホール

[調布市調布ヶ丘 1-5-1. 新宿駅より京王線: 調布(北口)下車(特急・急行・快速にて約20分), 徒歩約10分.
Tel.(0424)83-2161]

議 題

[1] 招待講演: タンパク質配列解析の並列最適化問題解決

石川幹人 (松下電器)

[2] Applying the SMC Model to an Update Based Cache Coherence Protocol

城 和貴, 福田 晃 (奈良先端大)

[3] Tubu Search による樹形モデルの区分点探索に関する研究

大塚賢太, 関 庸一 (群馬大)

[4] 親の形質を詳細に利用する遺伝的アルゴリズムを用いた電子系 DA における部品配置手法

多胡誠久, 白石洋一 (群馬大)

◆第107回 データベースシステム研究会

(発表件数: 9 件)

(主査: 田中克己, 幹事: 石川 博, 井上 潮, 吉川正俊)

日 時 平成8年3月11日(月) 10:00 ~ 17:20

会 場 情報処理学会 会議室 (芝浦)

[東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F. JR (山手線, 京浜東北線): 田町(東口)下車, 徒歩7分. または地下鉄(浅草線, 三田線): 三田下車, 徒歩10分. Tel.(03)5484-3535]

議 題

10:00 ~ 12:00]

[1] バルクアクセス・トランザクションを用いたデータウェアハウスの構築

大森 匡 (電通大)

[2] 画像データベースのアプリケーション開発のためのビジュアル言語

松田宜之, 金森吉成 (群馬大), 増永良文 (情報大)

[3] ビデオハイパーメディアによるビジュアル電子図書館の構築

花籠 靖, 小島 明, 佐藤哲司 (NTT)

13:00 ~ 17:20]

[4] An Integration Methodology for Antonomous Nomenclature Databases in Semantic Heterogeneity

Hajime Kitakami, Yasuma Mori, Masatoshi Arikawa (Hiroshima City Univ.)

[5] 構造化文書を対象とした意味的検索の一手法について

森村一雄, 吉川正俊, 植村俊亮 (奈良先端大)

[6] 圧縮ファイルへの直接検索を可能にする符号化方法の考案

松本光崇, 角田彦彦 (京大), 松本裕治 (奈良先端大), 長尾 真 (京大)

- (7) 分割シグネチャファイル構成法とそれに基づく効率的検索手法の提案と評価 渡辺悟康, 北川博之 (筑波大)
(8) ハードウェアによるデッドロック検出機構について 最所圭三 (奈良先端大)
(9) 状態の概念に基づいた画像/映像データの内容表現モデル 牛尼剛聡, 渡邊豊英 (名大)

◆第16回 グループウェア研究会

(発表件数: 6件)

(主査: 松下 温, 幹事: 星 徹, 宗森 純, 山上俊彦)

日 時 平成8年3月14日(木) 10:00~16:30

会 場 野村研修センター 中研修室

[横浜市保土ヶ谷区神戸町134 横浜ビジネスパーク(YBP) ウェストタワー7F, JR: 横浜または小田急線: 海老名下車, 相鉄線: 天王町下車, 徒歩7分, Tel.(045)336-5900]

議 題

[10:00~12:00]

- (1) 遠隔ゼミ支援システム RemoteWadaman の開発と適用 宗森 純, 由井蘭隆也, 山元一永, 長澤庸二 (鹿児島大)
(2) 発想支援グループウェア郡元を用いた遠隔地での KJ 法の実施
由井蘭隆也, 宗森 純, 山元一永, 長澤庸二 (鹿児島大)
(3) 静止画像を用いて相手のアウェアネスを伝達する協同作業支援システム: MAJIC95
市川裕介, 田中俊介, 栗原主計, 岡田謙一, 松下 温 (慶大)

[13:00~16:30]

- (4) 動的なワークフロー管理と病院診療モデルへの応用
大星直樹 (京大), 増井久元 (三菱電機), 上林弥彦, 高橋 隆 (京大)
(5) 読者の評価を利用したニュースの記事の選択 黒神英司, 北 英彦, 林 照峯 (三重大)
(6) FISH の利用履歴分析に基づくグループ情報共有支援の検討
愛川知宏 (NTT), 荒金陽助 (東工大), 杉田恵三 (NTT)
(7) パネル討論 (15:10~16:30): モバイル・グループウェアの課題と展望 司会: 山上俊彦 (NTT)

◆第112回 自然言語処理研究会

(発表件数: 19件)

(主査: 新田義彦, 幹事: 丹羽芳樹, 久光 徹, 丸山 宏)

日 時 平成8年3月14日(木) 10:15~16:45

15日(金) 10:15~17:15

会 場 徳島大学 工学部 知能情報工学科 D11 教室

[徳島市南常三島町2-1, JR 徳島駅より徳島バス(乗り場1, 3): 徳島大学前(約10分)下車, または市営バス(乗り場5, 6, 7): 助任橋下車, 徒歩約10分, あるいは徳島空港よりバス(徳島駅行): 徳島大学前(約20分)下車, Tel.(0886)56-7496 e-mail:kita@is.tokushima-u.ac.jp (北 研二)]

議 題

3月14日(木)

[10:15~11:45]●文書処理

- (1) トライ構造による概念階層の高速判定アルゴリズム 小山雅史, 林 淑隆, 獅々堀正幹, 青江順一 (徳島大)
(2) 文書の直接走査を利用した複合名詞解析 久光 徹 (日立)
(3) 文書間の関連性を可視化することによる文献検索システム
杉本雅則, 小山照夫 (学情センター), 堀 浩一, 大須賀節雄 (早大), 絹川博之 (日立)

[13:15~14:45]●統計・形態素解析

- (4) 辞書と統計を用いた対訳アライメント 春野雅彦, 山崎毅文 (NTT)
(5) 文脈木を利用した形態素解析 春野雅彦 (NTT), 松本裕治 (奈良先端大)
(6) 語彙化された確率的形態素解析 森 信介, 長尾 真 (京大)

[15:15~16:45]●機械翻訳

- (7) 日中対話機械翻訳における不適格な表現の処理 任 福継 (広島市立大)
(8) 「の」を含む名詞句の日英翻訳に対する事例ベースアプローチ 飯盛可織, 佐川雄二, 大西 昇 (名大)
(9) 類推に基づく料理定義文の自動獲得 安達久博 (宇都宮大)

3月15日(金)

[10:15~11:45]●定型表現

- (10) 日本語定型表現の分析と効率的照合アルゴリズム 安藤一秋, 辻 孝子, 獅々堀正幹, 青江順一 (徳島大)

- (11) 距離反比例スコアを導入したコロケーションの自動抽出法 尾本貴志, 北 研二 (徳島大)
 (12) Extracting Terminological Expressions Frantzi K, Ananiadou S (NTT), 辻井潤一 (東大)
[13 : 15 ~ 15 : 15] ●一般
 (13) グラフ探索アルゴリズムに基づく手話認識方式 竹内 勝, 櫻井彰人, 大淵康成 (RWCP / 日立)
 (14) 日本語テキスト分類における特徴素抽出 西野文人 (富士通研)
 (15) Case-Based Text Planning における文脈情報の取り扱い 谷口 実, 上原邦昭 (神戸大)
 (16) 確率・統計的手法による対話構造のモデル化 福井義和, 北 研二 (徳島大), 永田昌明 (NTT), 森元 逞 (ATR)

[15 : 45 ~ 17 : 15] ●辞書

- (17) 機械可読辞書の更新について 田中康仁 (兵庫大)
 (18) 認知実験に基づく概念辞書の構築と検索 大熊智子, 石崎 俊 (慶大)
 (19) テキストにおけるイベント間の時間的関係の抽出 東 正造, 山田 篤, 松本裕治 (奈良先端大)
 * 14 日の研究発表会終了後に懇親会を予定しております。ぜひご参加ください。

◆第 25 回 情報メディア研究会

(発表件数: 7 件)

(主査: 田中 譲, 幹事: 平山智史, 牧村信之, 森本英之)

日 時 平成 8 年 3 月 15 日 (金) 10 : 00 ~ 17 : 30
 会 場 情報処理学会 会議室 (芝浦) (所在地は前記参照)
 議 題 小特集: 遊び・エンタテインメントとメディア
[10 : 00 ~ 11 : 40]

- (1) 電子情報メディアを利用した数理パズル 山川総司, 有澤 誠 (慶大)
 (2) アーケードゲームのテクノロジー (その 1) 増補改訂版 宮沢 篤 (日本 IBM), 駒野目裕久 (池上通信機)
[13 : 20 ~ 17 : 30]
 (3) IntelligentBox におけるコンピュータ・アニメーション作成環境について 岡田義広, 田中 譲 (北大)
 (4) サイバー空間での近未来的エンタテインメント: 脳内情報処理の融合による
 次世代型超臨場感メディアの構築に向けてー基礎的成果のエクスポジション 苔米地英人 (ジャストシステム)
 (5) ポリゴンアイドル・薄井幸 大場章男, 中村雅裕, 鈴木茂之, 青木幸代, 薄井 幸 (ソニーコンピュータエンタテインメント)
 (6) メディアをつくる女子高生のクチコミの作り方 伊藤淳子 (エイガール)
 (7) 想いでオルゴールー Photo CD を利用した個人の記憶のカプセル化のためのメディアー 村田利文 (ビジョン・コーポレーション)

* 発表の順番・内容が変更される可能性があります。詳しくは infomedia-ml@huee.hokudai.ac.jp あて本文が #guide の 1 行だけのメールをお送りください。

◆第 50 回 アルゴリズム研究会

(発表件数: 9 件)

(主査: 浅野哲夫, 幹事: 加藤直樹, 鈴木 均, 徳山 豪)

日 時 平成 8 年 3 月 15 日 (金) 10 : 00 ~ 16 : 30
 会 場 中央大学 6 号館 7F 会議室 (6701 号室)

[東京都文京区春日 1-13-27. 地下鉄 (丸の内線): 後楽園下車, 徒歩 5 分。または地下鉄 (三田線): 春日下車, 徒歩 7 分。あるいは JR (中央線): 水道橋下車, 徒歩 15 分。Tel.(03)3817-1733]

議 題**[10 : 00 ~ 11 : 30]**

- (1) Grid Drawings of Four-connected Plane Graphs 中野真一, 西関隆夫 (東北大)
 (2) 平面グラフの格子直線描画アルゴリズム 内田斉一郎, 中野真一, 西関隆夫 (東北大)
 (3) 遺伝的アルゴリズムを用いたグラフ自動描画 角 浩二 (阪大), 榎原博之 (関西大), 中野秀男 (大阪市立大), 前田 肇 (阪大)

[13 : 00 ~ 16 : 30]

- (4) Computational testing of the network simplex premultiplier algorithm for minimum cost flow problems 作田 泉 (東大)
 (5) K best bases of matroids 松井泰子 (都立大), 松井知己 (東大)
 (6) Horn Extensions of a Partially Defined Boolean Function

- 牧野和久（京大），畑中健一（住友電工），茨木俊秀（京大）
- (7) Combinatorial and Geometric Approaches to Counting Problems on Linear Matroids, Graphic Arrangements and Partial Orders 今井 浩（東大），岩田 覚（京大），関根京子，吉田研秀（東大）
- (8) λ -幾何のスタйна木作成法 早瀬道芳，目本信太郎（岡山県立大）
- (9) Computing the Minkowski Sum of Monotone Polygons Antonio Hernandez Barrera（Hiroshima Univ.）

◆第58回 情報システム研究会

（発表件数：9件）

（主査：山本毅雄，幹事：内木哲也，神田 茂，中嶋聞多）

一第6回 情報システム若手の会ー

今年も年度最後の研究会を「若手の会」として開催いたします。もちろん参加年齢には一切制限はありませんが，特に情報システムの開発・研究・教育などに携わる大学院生，若手社員，若手研究者の方々の多数のご参加をお待ちしております。

日 時 平成8年3月19日（火）13：00～17：40

会 場 日本ユニシス 豊洲本社 5F 519号室

〔東京都江東区豊洲1-1-1. 地下鉄（有楽町線）：豊洲（1番出口）下車，徒歩10分。Tel.(03)5546-6128（玉上）〕

議 題

- (1) (WWW) X (ISDN) のRPT実験と総合網の提案 三宅 潤，山崎健弘，浅野貴広，伊吹公夫（東京工科大）
- (2) CAIのための手話記述言語とGUIの開発 三船智明，江刺宏恭，千種種民（東京工科大）
- (3) KJ法支援グループウェア実現方式の検討 菊田 要，迫 善一，松永俊雄（東京工科大）
- (4) ソフトシステム方法論を利用したドメイン分析法の提案 齊藤恵子，上田賀一（茨城大）
- (5) 招待講演（14：50～15：50）：商用オンラインサービスの運営に関する諸問題 伊藤二郎（ニフティ）
- (6) マルチメディアソフトウェアの知的所有権に関するアセスメントシステム
ー知的所有権の運用における実体とその影響についてー 岡本敏雄，阿部真紀子（電通大）
- (7) OO-DESIGNによるオブジェクト指向分析／設計 高橋富夫，宮崎比呂志，吉原哲宏（富士通）
- (8) 分散システムの性能予測方法の検討 白渕啓明，持田直穂，岩金純市，林 真紀（NTTデータ）
- (9) 電力5組織間でのインターネット利用 瀬川 修（中部電力），嶋田丈裕（電力中研）
和田秀夫（関西電力），坂林正隆（北陸電力），竹内 宏（電源開発）

*研究会終了後（18：00～19：30），懇親会を予定しています。発表者をはじめ参加者相互の意見交換などにぜひご利用ください。

◆第99回 コンピュータビジョン研究会

（発表件数：9件）

（主査：松山隆司，幹事：久野義徳，谷口倫一郎，村瀬 洋）

日 時 平成8年3月21日（木）9：20～17：30

会 場 東京商船大学 2号館 1F 2102教室

〔東京都江東区越中島2-1-6. 地下鉄（東西線）：門前仲町下車，徒歩10分。またはJR（京葉線）：越中島下車，徒歩3分。あるいは地下鉄（有楽町線）：月島下車，徒歩15分。Tel.(03)5245-7444（全 炳東）〕

議 題

[9：20～11：50]

- (1) レーザパターンシフトによる距離計測分解能の向上手法 服部数幸，佐藤幸男（名工大）
- (2) 位置関係が未知の複数視点からのレンジデータの重ね合わせ手法 清水郁子，出口光一郎（東大）
- (3) ロバスト統計を用いたステレオ法による空間の識別 高橋裕信，末広尚士（RWCP）
- (4) ステレオビジョンによる移動物体の追跡 山本和弥，村井祐一，番匠一雅，野田健一（拓殖大）

[13：20～17：30]

- (5) スネークスへのニューラルネットワークの適用と学習用データ作成の手法
飯田健太郎（奈良先端大／ミノルタ），今井正和，烏野 武（奈良先端大）
- (6) 精密なノイズモデルによるオブティカルフローの検出 木村和広，太田直哉，金谷健一（群馬大）
- (7) 投票による3次元運動解析 井宮 淳，イリス フェルミン，市川 熹（千葉大）
- (8) 主成分分析を用いた移動物体識別法の検討 渡辺 睦，武田信之，小野口一則（東芝）
- (9) CVCV-WG 特別報告：コンピュータビジョンにおける技術評論と将来展望（Ⅶ）
ー運動からの3次元復元（複数運動の扱いを中心に）ー 志沢雅彦（JRDC）
- (10) 見学（17：00～17：30）：東京商船大学

*最寄り駅からの道順・キャンパスマップ等の情報はWWWサーバーでご覧になれます。http://www.ipc.tosho-u.ac.jp

◆第108回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数：11件)

(主査：磯田定宏，幹事：青山幹雄，深澤良彰，松村一夫)

日 時 平成8年3月22日(金) 10:00～17:50
 会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)(所在地は前記参照)
 議 題

[10:00～12:20]

- (1) システム基盤開発を伴う業務システム開発のプロセス選定に関する一考察 菊地伸治 (NEC)
- (2) ソフトウェア自動合成シェル SOFTEXSHELL を用いたドメイン指向ソフトウェア開発プロセス設計
佐藤明良，友部 実，山之内徹，渡辺正信 (NEC)
- (3) 協調作業を含む業務のドメインモデルに基づくシステム開発法 新開治郎，田村恭久，伊藤 潔 (上智大)
- (4) ドメインモデルに基づく販売管理システムの開発支援 田村恭久，平井俊光，伊藤 潔 (上智大)

[13:30～17:50]

- (5) プログラムの難読化法の実験的評価 門田暁人，高田義広，鳥居宏次 (奈良先端大)
- (6) 対話 I/F 構築ツール W2-SHELL 久寿居大，石黒義英，西村知也，東 浩，宮下敏昭 (NEC)
- (7) 最適化 C コンパイラ対応デバッグの設計と評価
角 史生，富永宣輝，高山秀一 (松下電器)，佐山句子 (松下電工)，西畑素秀，岩村喜之 (松下電器)
- (8) 情報隠蔽に注目したオブジェクト指向設計の評価 保坂大輔，高田義広，鳥居宏次 (奈良先端大)
- (9) FA 向きオブジェクト指向言語 FORCE-TALK
大山博司，北出隆彦，領木正人，石原敏夫 (オークマ)，直井 徹 (岐阜大)
- (10) オブジェクト指向モデル記述言語 Bramble の開発 上田賀一，中野喜之，金村星吉，高橋大輔 (茨城大)
- (11) MVC モデルを利用した分業型オブジェクト指向開発 松澤由香里，山城明宏 (東芝)

◆第6回 プログラミング研究会

(発表件数：16件)

(主査：萩谷昌己，幹事：小川貴英，柴山悦哉，多田好克)

日 時 平成8年3月26日(火) 9:00～16:35
 27日(水) 9:00～15:00
 会 場 電気通信大学 西9号館 3F 情報工学科 AV ホール (西地)(所在地は前記参照)
 議 題

●特集：並列・分散

3月26日(火)

[9:00～11:55]

- (1) オブジェクト指向 Lisp EusLisp への並列 GC の実装 田中良夫 (慶大)，松井俊浩 (電総研)
- (2) マルチメディア向け SIMD 命令の生成手法 酒井淳嗣，枝廣正人，小長谷明彦 (NEC)
- (3) スカラマシン向けコンパイラにおける配列データフロー解析の評価 飯塚孝好 (日立)
- (4) データ駆動の手法を採り入れたデータパラレル・コンパイル方式 大谷浩司，安村通晃 (慶大)

[13:00～16:35]

- (5) 並列ビジュアルプログラミング環境 KLIEG：ネットワークパターンによる柔軟な再利用機構の導入
豊田正史，志築文太郎，高橋 伸，柴山悦哉 (東工大)
- (6) 並列／分散システムにおけるトランザクション処理の並列性制御自動選択方式
廣上雅久，大澤範高，弓場敏嗣 (電通大)
- (7) モバイルプロセスの観測合同について 村上昌己 (岡山大)
- (8) Predicative Verification of Real-time Communicating Processes
篠原加奈子，結縁祥治，坂部俊樹，稲垣康善 (名大)
- (9) Optimal time broadcasting in faulty star networks
Aohan Mei，Feng Bao，Yukihiro Hamada，Yoshihide Igarashi (群馬大)

●一般発表

3月27日(水)

9:00～11:55]

- (10) 条件付き項書換え系に基づく言語におけるメタ計算 沼澤政信，栗原正仁，大内 東 (北大)
- (11) 導出法と帰納的証明の融合について 萩谷昌己，渡辺 洋，北村敏子 (東大)
- (12) プログラム支援環境の視点から PWB (Programming Working Bench) の自由自在な基本ソフトウェア概念の形成と

考察

矢島輝邦（日立）

(13) Deriving Parallel Program for 2-dimensional Maximum Segment Sum Problem: A Case Study

胡 振江, 岩崎英哉, 武市正人（東大）

[13 : 00 ~ 15 : 00]

(14) 関数プログラムのプロモーション変換のための二手法の関係

岩崎英哉, 胡 振江（東大）

(15) 制約プログラミングによる木の描画

安達由洋, 土田賢省（東洋大）, 夜久竹夫（日大）

(16) 制約と状態遷移によるアルゴリズムアニメーション構築

金子正俊, 松田裕幸（東工大）

*並列・分散特集（26 日）のみ，電子情報通信学会（コンピューテーション研究会，ソフトウェアサイエンス研究会）と共催。

~~~~~

\*\*\*研究会 論文募集\*\*\*

**発表申込方法** 研究会発表申込書の様式で，発表題目，発表者名（登壇者に○），略称所属，概要（50 字程度），発表申込者連絡先（住所，氏名，Tel.，Fax.，e-mail）を明記の上，各研究会照会先まで **e-mail** または **Fax.** で直接お申し込み下さい。下記の研究発表会以外および特に指定がない研究会は，事務局研究会担当宛（e-mail:sig@ipsj.or.jp Fax.(03)5484-3534）に開催日の 3 ヶ月前までにお申し込みください。

◆グラフィクスと CAD 研究会

日 程 平成 8 年 5 月 14 日（火）

会 場 富士通クロスカルチャーセンター（武蔵中原）

議 題 マルチメディア処理と一般

発表申込締切 平成 8 年 2 月 29 日（木）

照 会 先 <sup>ひらま</sup> 晁間信治（新日鉄情報通信システム） \*問い合わせはメールでお願いします。

e-mail:hrm@cg.enicom.co.jp Tel.(03) 5566-4235 Fax.(03) 5566-4252

\*テレビジョン学会と共催

◆システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会

◆計算機アーキテクチャ研究会

日 程 平成 8 年 5 月 15 日（水）：OS，16 日（木）：ARC \*研究会連続開催

会 場 立命館大学 理工学部（滋賀県草津市）

議 題 特集：言語処理／OS 支援アーキテクチャ，および一般

発表申込締切 平成 8 年 3 月 5 日（火）

照 会 先 新實治男（京都工繊大） e-mail:hniimi@dj.kit.ac.jp Fax.(075)724-7400 Tel.(075)724-7476

◆マルチメディア通信と分散処理研究会

日 程 平成 8 年 5 月 16 日（木）・17 日（金）

会 場 東北大学 電気通信研究所

発表申込締切 平成 8 年 2 月 29 日（木）（できるだけ e-mail でお願いします。）

照 会 先 柴田義孝（東洋大） Tel.(0492)39-1443 Fax.(0492)33-9788 e-mail:shibata@yosemite.sb.cs.toyo.ac.jp

◆ソフトウェア工学研究会

日 程 平成 8 年 5 月 17 日（金）

会 場 松下電器 情報通信システムセンター（東京都品川区）

議 題 一般

発表申込締切 平成 8 年 3 月 1 日（金）

照 会 先 青山幹雄（新潟工科大） Tel.(044)754-4137 Fax.(044)754-4140 e-mail:mikio@csd.ts.fujitsu.co.jp

◆人文科学とコンピュータ研究会

日 程 平成 8 年 5 月 17 日（金）

会 場 会津大学

## 議 題 一般

発表申込締切 平成 8 年 2 月 29 日 (木) \*申込には返信しますので、返信のない場合には連絡ください。

照 会 先 山田奨治 (筑波技術短大) Tel.(0298)58-9577 Fax.(0298)58-9579 e-mail:shoji@cs.k.tsukuba-tech.ac.jp

## ◆情報メディア研究会

日 程 平成 8 年 5 月 17 日 (金)

会 場 情報処理学会 会議室 (芝浦) \*横浜に変更される可能性があります。

議 題 特集: 地域情報メディア

発表申込締切 平成 8 年 3 月 5 日 (火)

照 会 先 平山智史 (ソニー) e-mail:hirayama@ipc.sony.co.jp Tel.(03)3458-5605 Fax.(03)3458-5611

\*詳細は情報メディア研究会メーリングリスト infomedia-ml@huee.hokudai.ac.jp あて本文が #guide のみのメールをお送りください。

## ◆情報システム研究会

日 程 平成 8 年 5 月 21 日 (火)

会 場 情報処理学会 会議室 (芝浦)

発表申込締切 平成 8 年 2 月 29 日 (木)

照 会 先 内木哲也 (東洋大) Tel.(046)468-6342 Fax.(03)3945-7461 e-mail:uchiki@hakusrv.toyo.ac.jp

## ◆数理モデル化と問題解決研究会

日 程 平成 8 年 5 月 23 日 (木)

会 場 情報処理学会 会議室 (芝浦)

発表申込締切 平成 8 年 3 月 8 日 (金)

照 会 先 白石洋一 (群馬大) Tel.(0277)30-1854 Fax.(0277)30-1801 e-mail:siraisi@cs.gunma-u.ac.jp

## ◆コンピュータビジョンとイメージメディア研究会

CV 研究会 100 回記念 (CVIM 発足記念) 研究会

ーコンピュータビジョン研究の過去、現在、未来ー

CV 研究会として 100 回を迎えるにあたり、記念大会を行います。

また、今回を期にコンピュータビジョンとイメージメディア(CVIM)研究会と改名し新たなスタートを切ります。各種企画、特別講演の他、一般講演も募集します。

日 程 平成 8 年 5 月 23 日 (木)・24 日 (金)

会 場 東京大学 山上会館

発表申込締切 平成 8 年 2 月 28 日 (水) \* e-mail には返信しますので、返信のない場合にはご連絡ください。

照 会 先 喜多伸之 (工技院) Tel.(03)3501-9245 Fax.(03)3501-9229 e-mail:nkita@etl.go.jp

## ◆設計自動化研究会

日 程 平成 8 年 5 月 24 日 (金)

会 場 情報処理学会 会議室 (芝浦)

議 題 テーマ: レイアウトと一般

発表申込締切 平成 8 年 2 月 25 日 (日) (できるだけ e-mail でお願いします。)

照 会 先 小野寺秀俊 (京大) Tel.(075)753-5314 Fax.(075)753-5343 e-mail:onodera@kuee.kyoto-u.ac.jp

## ◆ヒューマンインタフェース研究会

日 程 平成 8 年 5 月 24 日 (金)

会 場 湘南国際村

議 題 特集: インタフェース評価とデザイン技法, および一般

発表申込締切 平成 8 年 3 月 5 日 (火)

照 会 先 中内 靖 (防衛大) Tel.(0468)41-3810(ext.2536) Fax.(0468)44-5900 e-mail:nakauchi@cc.nda.ac.jp

\*「HI プロフェッショナル」ワークショップを併催 (予定)。詳細は <http://133.99.9.1:3535/> をご覧ください。

◆分散システム運用技術研究会

日 程 平成8年5月24日(金)

会 場 東京大学 教育用計算機センター

発表申込締切 平成8年2月20日(火)

照 会 先 一井信吾(東大) Tel.(03)3812-2111(ext.2721) Fax.(03)5684-7775 e-mail:ichii@nc.u-tokyo.ac.jp  
岩原正吉(金沢大) Tel.(0762)34-4847 Fax.(0762)34-4847 e-mail:iwahara@magstar.ec.t.kanazawa-u.ac.jp

◆音楽情報科学研究会

日 程 平成8年5月25日(土)・26日(日)

会 場 広島文化女子短期大学

発表申込締切 平成8年3月5日(火)

照 会 先 平賀 譲(情報大) Tel.(0298)52-0511(ext.341) Fax.(0298)52-4326 e-mail:hiraga@ulis.ac.jp

\*日本音楽知覚認知学会と共催(予定)。パネル討論などの企画も予定しています。

◆自然言語処理研究会

◆音声言語情報処理研究会

日 程 平成8年5月27日(月)・28日(火) 研究会連続開催(一部共通)

会 場 東京農工大学(東京都小金井市)

議 題 テーマ:音声言語情報処理のための大規模テキストデータベースの利用,および一般

発表申込締切 平成8年3月5日(火)(できるだけe-mailをお願いします。)

\*e-mailには返信しますので,返信のない場合はご連絡ください。

照 会 先 NL:丹羽芳樹(日立) Tel.(0492)96-6111(ext.241) Fax.(0492)96-6006 e-mail:yniwa@harl.hitachi.co.jp  
SLP:小林哲則(早大) Tel.(03)5286-3379 Fax.(03)3205-9381 e-mail:koba@tk.elec.waseda.ac.jp

◆アルゴリズム研究会

日 程 平成7年5月29日(水)

会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)

発表申込締切 平成8年3月5日(火)

照 会 先 鈴木 均(東北大) e-mail:hs@ecei.tohoku.ac.jp Fax.(022)263-9303

◆プログラミング研究会

日 程 平成8年5月31日(金)

会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)

議 題 プログラミングに関する一般講演

発表申込締切 平成8年3月7日(木)

照 会 先 寺田 実(東大) e-mail:terada@sanpo.t.u-tokyo.ac.jp Tel.(03)3812-2111(ext.6280) Fax.(03)3815-8356

◆オーディオビジュアル複合情報処理研究会

日 時 平成8年6月7日(金)13:00~17:00(予定)

会 場 北海道工業大学(札幌市)

議 題 テーマ:移動体とマルチメディア,およびマルチメディア一般

発表申込締切 平成8年3月22日(金)

照 会 先 一之瀬進(NTT) e-mail:ichinose.susumu@icsh.cae.ntt.jp Tel.(044)548-4902 Fax.(044)520-1196(G4)

## 平成 8 年度 研究会のお知らせ

平成 8 年度は、下記のとおり 26 研究会（新設 2：＊）で実施します。

## &lt;コンピュータサイエンス領域&gt;

委員長：増永良文 財務担当：吉澤康文

| 研究会名（略称）                             | ○ 主査、幹事                          | 取 り 扱 う 研 究 分 野 の 例                                                                                                                                            |
|--------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| データベースシステム<br>(DBS)                  | ○ 田中克己<br>石川 博<br>(未 定)<br>(未 定) | 1. DBSM 技術 2. データモデリング 3. 情報検索<br>4. ハイパーテキスト・ハイパーメディア<br>5. マルチメディアデータベース<br>6. データベース高度応用                                                                    |
| ソフトウェア工学<br>(SE)                     | ○ 磯田定宏<br>青山幹雄<br>岸 知二<br>深澤良彰   | ・要求定義, 設計技法・保守・形式的仕様・開発管理・プログラム開発法<br>・トリックス・検査, 検証・信頼性・ソフトウェア開発支援環境, CASE・標準化<br>・再利用, プログラム合成・人的要因, 教育・ソフトウェア開発モデル<br>・知能処理技術のソフトウェア工学への応用                   |
| 計算機アーキテクチャ<br>(ARC)                  | ○ 中島 浩<br>木村康則<br>関口智嗣<br>宮田裕行   | ・計算機システム・アーキテクチャ全般<br>・ソフトウェア・システム (OS, コンプライザ, ツール) とのインタフェース<br>・並列処理アーキテクチャ<br>・VLSI アーキテクチャ                                                                |
| システムソフトウェアと<br>オペレーティング・システム<br>(OS) | ○ 徳田英幸<br>梅村恭司<br>柴山茂樹<br>福田 晃   | システム性能評価, オペレーティングシステム, ネットワーク実現技術,<br>ネットワークプロトコル, サーバ実現技術, リアルタイムシステム,<br>言語処理系, ネットワークセキュリティ,<br>モバイルコンピューティング                                              |
| 設 計 自 動 化<br>(DA)                    | ○ 吉田憲司<br>小野寺秀俊<br>小山正弘<br>長 光雄  | 集積回路から装置システムまで一貫した設計自動化技術:<br>具体的には, エレクトロニクス用 DA/CAD, HDL,<br>論理合成, レイアウト合成, 論理検証, テストなどを扱う。                                                                  |
| ハイパフォーマンス<br>コンピューティング<br>(HPC)      | ○ 野寺 隆<br>佐藤三久<br>寒川 光<br>朴 泰祐   | 計算科学 (数値計算) / シミュレーションの理論と実際 (モデル化, アルゴリズム,<br>品質保証), 高速・高性能アーキテクチャ・システム (超並列 WS)<br>利用技術/性能評価と提言, 計算と計算機を結ぶ技術 (可視化, 言語,<br>データ配置, 最適化, デバッグツールなど)             |
| プ ロ グ ラ ミ ン グ<br>(PRO)               | ○ 石畑 清<br>上田和紀<br>寺田 実<br>萩谷昌己   | ・プログラミング言語の基本概念, 設計原理, 実装技術<br>・プログラミング方法論, プログラミング環境<br>・その他, プログラミングに関する面白い話題                                                                                |
| ア ル ゴ リ ズ ム<br>(AL)                  | ○ 浅野孝夫<br>阿久津達也<br>今井桂子<br>半田恵一  | 1. グラフ, ネットワーク等に関するアルゴリズム, 2. 計算幾何学と計算代数学<br>3. 暗号, 符号等の数論的アルゴリズム 4. 確率アルゴリズムと近似アルゴリズム<br>5. 分散, 並列アルゴリズム, ハードウェアアルゴリズム 6. データ構造<br>7. 計算複雑度理論 8. アルゴリズムの応用と実用 |
| 数理モデル化と問題解決<br>(MPS)                 | ○ 中森眞理雄<br>白石洋一<br>伊達 博          | 1. 数理モデル化全般と解法 2. 数理計画法<br>3. グラフ理論, ネットワークフロー理論 4. 逆問題<br>5. モデル化の教育 6. 各種モデルの応用                                                                              |

## ＜情報環境領域＞

委員長：上林弥彦

財務担当：滝沢 誠

| 研究会名 (略称)                          | ○ 主査, 幹事                         | 取 り 扱 う 研 究 分 野 の 例                                                                                                                                          |
|------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| マルチメディア通信と<br>分散処理<br>(DPS)        | ○ 白鳥則郎<br>小花貞夫<br>柴田義孝<br>菅野政孝   | マルチメディアによる高度情報通信ネットワークと分散処理システム<br>(高速通信, 分散コンピューティング, マルチメディア情報通信,<br>知的通信, プロトコル, 分散協調など)                                                                  |
| ヒューマンインタフェース<br>(H I)              | ○ 竹林洋一<br>来住伸子<br>浜田 洋<br>山本吉伸   | 1. 計算機システムのインタフェース 2. マルチメディア/マルチモーダルインタフェース<br>3. コミュニケーションとインタフェース 4. 協調作業のインタフェース 5. 文書処理のインタフェース<br>6. 人工現実感 7. 認知情報処理 8. インタフェースデザイン技法<br>9. インタフェース評価法 |
| グラフィックスと CAD<br>(C G)              | ○ 大野義夫<br>小堀研一<br>斎藤 剛<br>福井一夫   | CG のソフトウェア・アルゴリズム・ハードウェア・応用,<br>ユーザ・インタフェース, 形状モデリング, アニメーション, アート,<br>可視化, 仮想現実感, CAD/CAM, 計算幾何学, 図面処理                                                      |
| 情 報 シ ス テ ム<br>(I S)               | ○ 黒川恒雄<br>阿部昭博<br>魚住 董<br>内木哲也   | 1. 情報システムの分析・設計・構築・運用と利用<br>2. 情報ニーズ, 情報・データの管理などの理論と実際<br>3. 情報システムと人間・組織・社会との相互関連                                                                          |
| 情 報 学 基 礎<br>(F I)                 | ○ 中川 優<br>木本晴夫<br>中谷多哉子<br>(未 定) | 1. 情報の表現, 識別, 分類, 評価, 検索, 流通, 管理の手法<br>2. 学習と発見による大量情報の知識化, 遺伝子情報<br>3. 大量のマルチメディア情報, 文字情報の処理                                                                |
| 情 報 メ デ ィ ア<br>(I M)               | ○ 田中 譲<br>平山智史<br>小澤英昭<br>広瀬 真   | 1. 情報の生態系<br>2. メディアの電子化, 映像化, メディア機械 (仮想現実など)<br>3. メディアの創作, 編集, 表現, 伝達, 管理, 理解のメタファと環境                                                                     |
| オーディオビジュアル<br>複 合 情 報 処 理<br>(AVM) | ○ 安田 浩<br>一之瀬進<br>児玉 明<br>村上仁己   | マルチメディアと画像, 音声情報処理:<br>・高品質, 底ビットレート画像, 音声信号処理, 符号化システム<br>・B-ISDN, マルチメディアの国際標準化 (MPEG, DAVIC 等)                                                            |
| グ ル ー プ ウ ェ ア<br>(G W)             | ○ 松下 温<br>星 徹<br>宗森 純<br>山上俊彦    | 1. 協調基礎 (組織, 認知, 社会心理, 行動科学)<br>2. グループ応用 (意思決定, 協同設計, 発想, 教育)<br>3. グループワークインフラ (仮想環境, グループ通信)<br>4. 分散オフィス 5. マルチユーザインタフェース 6. 事例紹介                        |
| *<br>分散システム運用技術<br>(DSM)           | ○ 石田晴久<br>箱崎勝也<br>林 英輔<br>堀越 彌   | 分散環境での柔軟かつ効率的な,<br>・コンピュータおよびネットワークシステム・情報源の構成・運用管理手法<br>・技術移転とみた運用スタッフ, 利用者教育手法                                                                             |
| *<br>デジタル・ドキュメント<br>(D D)          | ○ 山田尚勇<br>絹川博之<br>空閑茂起<br>福島敏高   | マルチメディア文書作成技術, CALS の活用, 検索と表示技術,<br>デジタルライブラリー, ネットワーク流通技術<br>などのデジタルドキュメント関連の活用について                                                                        |

## ＜フロンティア領域＞

委員長：安西祐一郎

財務担当：平田圭二

| 研究会名 (略称)                            | ○ 主査、幹事                         | 取 り 扱 う 研 究 分 野 の 例                                                                                                                                                |
|--------------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自然言語処理<br>(N L)                      | ○ 新田義彦<br>丹羽芳樹<br>久光 徹<br>丸山 宏  | 言語理論, 言語行動, 言語資料・統計, 辞書, 言語データベース,<br>形態素解析, 統語解析, 意味解析, 文脈解析, 対話, 談話理解,<br>音声言語, 知識表現, 機械翻訳, 情報検索, 自然言語処理ソフトウェア                                                   |
| 人工知能<br>(A I)                        | ○ 中島秀之<br>有馬 淳<br>加藤 浩<br>橋田浩一  | 知識表現, 推論・探索, 学習, 認知モデル, ニューラルネット, 知識ベース,<br>エキスパートシステム, 分散・協調 AI, フラジー理論, パターン・自然言語の理解,<br>知的インタフェース, AI7-キクチャ, 複雑系, A-Life,<br>その他の知能メカニズム関連研究と応用システム             |
| コンピュータビジョンと<br>イメージメディア<br>(C V I M) | ○ 松山隆司<br>喜多伸之<br>久野義徳<br>森島繁生  | コンピュータによる視覚認識: 画像処理, 画像理解, 物体認識, 3次元復元,<br>ステレオ視, 運動解析, 距離解析, 色彩解析, ロボットビジョン, 画像処理プロセッサ<br>コンピュータによる視覚メディア処理: 画像・ビデオ映像の知的編集および知的映像<br>効果の生成, 立体テレビ, 画像・映像データベースの検索 |
| コンピュータと教育<br>(C E)                   | ○ 大岩 元<br>河合和久<br>河村一樹<br>神津陽一  | 1. 情報教育に関する諸問題: 初等・中等教育における情報教育のあり方,<br>大学・企業における教育・再教育・生涯教育などに対するカリキュラム<br>2. 教育におけるコンピュータの活用: 教育現場に適合したコンピュータシステム,<br>言語, 教材開発支援ツール, それらの開発・実用経験・評価              |
| 人文科学とコンピュータ<br>(C H)                 | ○ 八村広三郎<br>斎藤 雅<br>高橋晴子<br>山田奨治 | 人文科学分野へのコンピュータ応用をめざした<br>1. ハード・ソフトの開発・事例<br>2. 研究手法 (処理技術) の開発・事例<br>3. 学際的研究や理論的研究                                                                               |
| 音楽情報科学<br>(M U S)                    | ○ 鈴木 孝<br>志村 哲<br>中村滋延<br>平賀 譲  | 計算機技術と音楽双方に関連した領域:<br>計算機の介在した作曲・編曲・演奏・伴奏, 電子楽器,<br>音楽信号処理, AI と音楽, 音楽の認知・知覚・感性情報,<br>音楽情報処理システム, 音楽学や音楽芸術と計算機技術                                                   |
| 音声言語情報処理<br>(S L P)                  | ○ 中川聖一<br>岡田美智男<br>小林哲則<br>畑岡信夫 | 1. 音声言語情報処理 (音声の分析・加工・合成・認識・理解,<br>話言葉の解析・解釈・生成)<br>2. 音声言語処理システム (ディクテーション, 音声対話, 音声翻訳)<br>3. 音声インタフェースと音声応用                                                      |

- ・領域制については、「研究会運営の領域制試行について」(Vol.36 No.5, 478p.～479p.), および「領域制に期待する」(Vol.36No.12, 巻頭言)をご参照ください。なお, 学会 WWW (<http://www.ipsj.or.jp>) にも掲載しています。
- ・年間を通して参加される場合は登録をお願いします。登録費は研究会ごとに毎年度見直しの上, 決定します。
- ・学際的な研究会への境界領域の方々を対象とした研究会登録手続きとして, 「研究会準登録者制度」を設けております。詳細等については, 事務局研究会担当までお問合せください。
- ・登録されていない会員は研究発表会当日, 資料代をいただきます。

平成 8 年 度 研 究 発 表 会 開 催 予 定

研究会活動の充実、活性化の目的から研究発表会の開催回数を絞り、シンポジウムや国際会議等の活動を計画する研究会もありますので、本欄シンポジウム等の行事予定も併せてご覧ください。

<コンピュータサイエンス領域>

平成 8 年 1 月 12 日現在

| 研究会名 (略称)                             | 開 催 日                 | 会 場 他                               |
|---------------------------------------|-----------------------|-------------------------------------|
| データベースシステム<br>(DBS)                   | 5 月 23 日(木)           | 東 京                                 |
|                                       | ◎ 7 月 24 日(水)~26 日(金) | 長 野                                 |
|                                       | 10 月 24 日(木)          | 東 京                                 |
|                                       | 1 月 22 日(水)・23 日(木)   | 大 阪                                 |
| ソ フ ト ウ ェ ア 工 学<br>(S E)              | 5 月 17 日(金)           | 松下電器 (品川)                           |
|                                       | 7 月 18 日(木)・19 日(金)   | 地 方                                 |
|                                       | 9 月 11 日(水)           | 上智大                                 |
|                                       | 11 月 15 日(金)          | 東 京                                 |
|                                       | 3 月 7 日(金)            | 東 京                                 |
| 計 算 機 アーキテクチャ<br>(ARC)                | ◎ 5 月                 | 京 都 ※言語処理/OS 支援アーキテクチャ (*OS 研と連続)   |
|                                       | 8 月                   | 未 定 -SWoPP '96-                     |
|                                       | 10 月                  | 山梨大 ※コンパイラ技術 (*PRO 研と連続)            |
|                                       | ◎12 月 12 日(木)         | 神戸大 ※CAD とアーキテクチャ (*DA 研と合同)        |
|                                       | 1 月                   | 未 定 ※ (小) 光コンピューティング                |
|                                       | 3 月                   | 札 幌 -Hokke '97- (*HPC 研と連続)         |
| システムソフトウェアと<br>オペレーティング・システム<br>(O S) | ◎ 5 月 10 日(金)         | 京 都 (*ARC 研と連続)                     |
|                                       | 8 月 30 日(金)           | 未 定 -SWoPP '96-                     |
|                                       | 2 月 27 日(木)・28 日(金)   | 学会会議室 (芝浦) (*DPS 研と合同)              |
| 設 計 自 動 化<br>(D A)                    | 5 月 24 日(金)           | 学会会議室 (芝浦) ※レイアウト                   |
|                                       | ◎10 月 17 日(木)・18 日(金) | 東北大 ※システム LSI 設計手法                  |
|                                       | 12 月 12 日(木)          | 神戸大 ※機能論理設計とアーキテクチャ設計支援 (*ARC 研と合同) |
|                                       | 2 月 14 日(金)           | 東工大 ※設計とテスト                         |
| ハイパフォーマンス<br>コンピューティング<br>(HPC)       | 5 月 下旬                | 電総研 ※サイエンティフィックビジュアライゼーション          |
|                                       | 8 月 下旬                | 未 定 -SWoPP '96-                     |
|                                       | 10 月 4 日(金)           | アステールプラザ (広島)                       |
|                                       | 12 月 12 日(木)          | 慶 大 (三田)                            |
|                                       | 3 月 中旬                | 札 幌 -Hokke '97- (*ARC 研と連続)         |
| プ ロ グ ラ ミ ン グ<br>(P R O)              | 5 月 31 日(金)           | 学会会議室 (芝浦)                          |
|                                       | 8 月                   | 未 定 -SWoPP '96-                     |
|                                       | 9 月 2 日(月)            | 奈良先端大                               |
|                                       | 11 月                  | 山梨大 (*ARC 研と連続)                     |
|                                       | 1 月                   | 未 定                                 |
|                                       | 3 月 28 日(金)           | NTT (武蔵野)                           |
| ア ル ゴ リ ズ ム<br>(A L)                  | 5 月 29 日(水)           | 学会会議室 (芝浦)                          |
|                                       | 7 月 24 日(水)           | 群馬大                                 |
|                                       | 9 月 13 日(金)           | 岐阜大                                 |
|                                       | 10 月 17 日(木)          | 東北大                                 |
|                                       | 1 月 23 日(木)           | 広島大                                 |
|                                       | 3 月                   | NTT (厚木)                            |
| 数理モデル化と問題解決<br>(MPS)                  | 5 月 23 日(木)           | 学会会議室 (芝浦)                          |
|                                       | 7 月 26 日(金)           | 群馬大                                 |
|                                       | 9 月 13 日(金)           | 農工大                                 |
|                                       | 11 月 29 日(金)          | 奈良先端大                               |
|                                       | 1 月 24 日(金)           | 広島大                                 |
|                                       | 3 月 24 日(月)           | 川崎製鉄 (千葉)                           |



## ＜情報環境領域＞

| 研究会名（略称）                      | 開催日                                                                                               | 会場                                                                                                                                                                     | 他 |
|-------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| マルチメディア通信と分散処理<br>(DPS)       | 5月16日(木)・17日(金)<br>7月12日(金)<br>9月27日(金)<br>11月14日(木)・15日(金)<br>1月30日(木)・31日(金)<br>2月27日(木)・28日(金) | 東北大<br>学会会議室（芝浦）<br>学会会議室（芝浦）<br>広島市立大<br>愛媛大（*GW研と合同）<br>学会会議室（芝浦）（*OS研と合同）                                                                                           |   |
| ヒューマンインタフェース<br>(HI)          | 5月24日(金)<br>7月11日(木)<br>◎9月12日(木)<br>11月14日(木)<br>1月16日(木)<br>3月6日(木)・7日(金)                       | 湘南国際村 ※（小）インタフェース評価とデザイン技法<br>学会会議室（芝浦） ※（小）ハイパーメディア&ビデオ・インタフェース<br>機械振興会館 ※福祉インタフェース<br>東芝（関西） ※（小）エージェントとインタフェース<br>東大 ※（小）ネットワーク環境のユーザインタフェース<br>仙台 ※（小）インタフェースデバイス |   |
| グラフィックスとCAD<br>(CG)           | ◎5月30日(木)<br>8月22日(木)・23日(金)<br>10月9日(水)<br>◎12月19日(木)・20日(金)<br>2月21日(金)                         | 学会会議室（芝浦）<br>岩手 ※手間のかからないCGー夏の集中研究集会ー<br>広島大 ※グラフィックスの応用と新たな展開<br>会津大 ※仮想空間構築のためのパターンメディア理解とグラフィックス<br>学会会議室（芝浦）                                                       |   |
| 情報システム<br>(IS)                | 5月21日(火)<br>7月16日(火)<br>10月16日(水)<br>1月21日(火)<br>3月18日(火)                                         | 学会会議室（芝浦）<br>地方<br>学会会議室（芝浦）<br>学会会議室（芝浦）<br>東京ー若手の会ー                                                                                                                  |   |
| 情報学基礎<br>(FI)                 | 4月下旬<br>7月<br>9月12日(木)・13日(金)<br>11月                                                              | 東京<br>つくば<br>慶大（藤沢）（*NL研と合同または連続）<br>学会会議室（芝浦）                                                                                                                         |   |
| 情報メディア<br>(IM)                | 5月17日(金)<br>7月5日(金)<br>◎11月21日(木)・22日(金)<br>1月10日(金)                                              | 学会会議室（芝浦） ※（小）地域情報メディア<br>富士通（川崎） ※（小）サイバー・エデュケーション<br>京都 ※（小）サイバー・スペースのデザイン<br>北大 ※（小）マルチメディアネットワークとベンチャービジネス                                                         |   |
| オーディオビジュアル<br>複合情報処理<br>(AVM) | 6月7日(金)<br>9月13日(金)<br>12月6日(金)<br>3月7日(金)                                                        | 北海道工大 ※移動体とマルチメディア<br>早大 ※デジタル放送とISDB<br>早大 ※マルチメディアナビゲーション<br>沖縄 ※MPEG4                                                                                               |   |
| グループウェア<br>(GW)               | 4月26日(金)<br>6月13日(木)・14日(金)<br>7月18日(木)<br>10月3日(木)<br>1月30日(木)・31日(金)<br>3月6日(木)                 | 学会会議室（芝浦）<br>会津大<br>学会会議室（芝浦）<br>学会会議室（芝浦）<br>愛媛大（*DPS研と合同）<br>学会会議室（芝浦）                                                                                               |   |
| *新設<br>分散システム運用技術<br>(DSM)    | 5月24日(金)<br>7月12日(金)<br>9月20日(金)<br>11月15日(金)                                                     | 東大<br>京大<br>広島大<br>大阪市立大                                                                                                                                               |   |
| *新設<br>デジタル・ドキュメント<br>(DD)    | 5月27日(月)<br>7月8日(月)<br>9月17日(火)<br>11月11日(月)<br>1月20日(月)<br>3月                                    | 学会会議室（芝浦）<br>東京<br>学会会議室（芝浦）<br>東京<br>学会会議室（芝浦）<br>東京                                                                                                                  |   |

<フロンティア領域>

| 研究会名(略称)                        | 開催日               | 会場        | 他                                           |
|---------------------------------|-------------------|-----------|---------------------------------------------|
| 自然言語処理<br>(NL)                  | 5月27日(月)・28日(火)   | 農工大       | ※音声言語情報処理のための<br>大規模テキストデータベースの利用(*SLP研と連続) |
|                                 | ◎7月18日(木)・19日(金)  | 豊橋技科大     |                                             |
|                                 | 9月12日(木)・13日(金)   | 慶大(藤沢)    | ※自然言語処理と情報検索・文書処理(*FI研と合同または連続)             |
|                                 | 11月18日(月)・19日(火)  | 奈良先端大     |                                             |
|                                 | 1月中旬              | 東京        |                                             |
|                                 | 3月中旬              | 長崎大       |                                             |
| 人工知能<br>(AI)                    | 5月14日(水)          | 学会会議室(芝浦) |                                             |
|                                 | 8月                | 未定        | -SWoPP'96-                                  |
|                                 | ◎10月30日(水)・31日(木) | 学会会議室(芝浦) | ※人工社会・人工経済                                  |
| コンピュータビジョンと<br>イメージング<br>(CVIM) | 5月23日(木)・24日(金)   | 東大        | ※100回記念研究会                                  |
|                                 | 9月12日(木)          | 幕張メッセ     | (千葉県主催先端技術会議の1トラック)                         |
|                                 | 11月28日(木)         | 名大        |                                             |
|                                 | 1月23日(木)          | 京大        |                                             |
|                                 | 3月27日(木)          | 東京        |                                             |
| コンピュータと教育<br>(CE)               | ◎5月25日(土)         | 慶大(藤沢)    |                                             |
|                                 | 9月20日(金)          | 学会会議室(芝浦) |                                             |
|                                 | 11月15日(金)         | 豊橋技科大     |                                             |
|                                 | 1月17日(金)          | 学会会議室(芝浦) |                                             |
| 人文科学とコンピュータ<br>(CH)             | 5月17日(金)          | 会津大       |                                             |
|                                 | 9月                | 青森        |                                             |
|                                 | 11月15日(金)         | 大阪市立大     |                                             |
|                                 | 1月24日(金)          | 九工大       |                                             |
| 音楽情報科学<br>(MUS)                 | 5月25日(土)・26日(日)   | 広島文化女子短大  |                                             |
|                                 | 7月27日(土)・28日(日)   | 千葉        | ※夏のシンポジウム                                   |
|                                 | 10月               | 国立音大      |                                             |
|                                 | 12月               | 地方        |                                             |
|                                 | 2月                | 学会会議室(芝浦) |                                             |
| 音声言語情報処理<br>(SLP)               | 5月27日(月)・28日(火)   | 農工大       | ※音声言語情報処理のための<br>大規模テキストデータベースの利用(*NL研と連続)  |
|                                 | 7月26日(金)・27日(土)   | 地方        | ※音声対話システム、自然発話の理解                           |
|                                 | ◎10月25日(金)        | 学会会議室(芝浦) |                                             |
|                                 | ◎12月12日(木)・13日(金) | 東京近郊      |                                             |
|                                 | 2月7日(金)・8日(土)     | 地方        | ※音声によるヒューマンインターフェース                         |

注) 上記開催予定は平成8年1月12日現在のもので、日程、会場等に変更される場合があります。  
最新号の本欄にてご確認ください。

※：特集    ※(小)：小特集    ◎：他学会との共催  
-SWoPP'96-：1996年並列／分散／協調処理に関するサマーワークショップ  
-Hokke'97-：ハイパフォーマンス・コンピューティングとアーキテクチャの評価に関する「北海道」ワークショップ

## 【個人新規専用】

平成 年 月 日

## 平成 8 年度 研究会登録申込書

フリガナ

氏名 \_\_\_\_\_

会員 No. \_\_\_\_\_

## &lt;コンピュータサイエンス領域&gt;

| 申込 | 英略称 | 研究会名                     | 登録費   | 申込 | 英略称 | 研究会名               | 登録費   |
|----|-----|--------------------------|-------|----|-----|--------------------|-------|
|    | DBS | データベースシステム               | 5,000 |    | HPC | ハイパフォーマンスコンピューティング | 4,900 |
|    | SE  | ソフトウェア工学                 | 5,000 |    | PRO | プログラミング            | 4,900 |
|    | ARC | 計算機アーキテクチャ               | 5,500 |    | AL  | アルゴリズム             | 5,500 |
|    | OS  | システムソフトウェアとオペレーティング・システム | 4,000 |    | MPS | 数理モデル化と問題解決        | 4,200 |
|    | DA  | 設計自動化                    | 5,000 |    |     |                    |       |

## &lt;情報環境領域&gt;

| 申込 | 英略称 | 研究会名           | 登録費   | 申込 | 英略称 | 研究会名              | 登録費   |
|----|-----|----------------|-------|----|-----|-------------------|-------|
|    | DPS | マルチメディア通信と分散処理 | 5,000 |    | IM  | 情報メディア            | 4,300 |
|    | HI  | ヒューマンインタフェース   | 5,100 |    | AVM | オーディオ・ビジュアル複合情報処理 | 4,500 |
|    | CG  | グラフィクスとCAD     | 4,700 |    | GW  | グループウェア           | 4,800 |
|    | IS  | 情報システム         | 5,000 |    | DSM | *分散システム運用技術       | 4,600 |
|    | FI  | 情報学基礎          | 5,000 |    | DD  | *デジタル・ドキュメント      | 5,100 |

## &lt;フロンティア領域&gt;

| 申込 | 英略称  | 研究会名                | 登録費   | 申込 | 英略称 | 研究会名        | 登録費   |
|----|------|---------------------|-------|----|-----|-------------|-------|
|    | NL   | 自然言語処理              | 5,600 |    | CH  | 人文科学とコンピュータ | 4,700 |
|    | AI   | 人工知能                | 3,900 |    | MUS | 音楽情報科学      | 3,500 |
|    | CVIM | コンピュータビジョンとイメージメディア | 5,100 |    | SLP | 音声言語情報処理    | 5,500 |
|    | CE   | コンピュータと教育           | 4,000 |    |     |             |       |

\*：新設

登録申込み： \_\_\_\_\_ 件      合計金額： \_\_\_\_\_ 円      請求書要： \_\_\_\_\_ 部

問い合わせ先：Tel. ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_ (ext. \_\_\_\_\_ )

## 登録申込方法および注意事項

- ・申込者氏名，会員 No. を必ず記入のうえ，登録希望の研究会の申込欄に○印をしてください。
- ・登録申込件数，合計金額，請求書部数（必要な場合のみ）を記入してください。
- ・本申込書は新規登録の方のみ利用できます。（平成7年度に登録された方は別途お申込みください）
- ・登録の方には研究発表会の都度，研究報告を後日郵送します。
- ・研究報告送付先は学会誌と同様となります。（変更等は書面にて会員係までご連絡ください）
- ・登録は登録費の領収をもって正式の受付とします。
- ・登録費の払込みは登録手続き完了後に送付する郵便振替用紙でのご送金にご協力ください。

## 申込／照会先

〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F （社）情報処理学会 研究会係  
 Tel. (03)5484-3535 Fax. (03)5484-3534 e-mail:sig@ipsj.or.jp



## 「研究グループ」について

確立された分野を対象とした研究会とは別に、ある特定分野の研究開発を短期間集中的に行うとか、新しい研究分野となり得る萌芽的研究など、より自由で機動性に富んだ研究活動を促進するために、研究グループ制度があります。

この制度は会員の方々の研究活動にお役立ていただけるものとして手軽に設立することができます。

設立等の詳細につきましては事務局研究会担当までお問合せください。

平成8年度は、以下の研究グループが活動します。

### ＜情報環境領域＞

◇システム評価（新設：H 8.4～H 10.3）（主査：亀田壽夫，幹事：小林 誠，野瀬純郎，李 頌）

◇モバイルコンピューティング（新設：H 8.4～H 10.3）（主査：水野忠則，幹事：岡田謙一，寺岡文男，森原一郎）

### ＜フロンティア領域＞

◇電子化テキストコーパス作成技術（H6.10～H8.9）（主査：野村浩郷，幹事：井佐原均，徳永健伸，中村貞吾）

~~~~~

「システム評価」研究グループ新設について

（主査：亀田壽夫，幹事：小林 誠，野瀬純郎，李 頌）

情報処理システムは多様化し、どのように作るか、またどれを選ぶかなど、評価の問題が重要さを増しています。処理の速さや効率に関わる性能の評価にとどまらず、機能の豊かさ、使い勝手、信頼性、などいろいろな評価の視点が重要です。情報処理技術の各分野の要素技術を統合した立場で性能評価の問題を検討することが、グループの課題の1つです。評価は、情報処理システムがおかれる社会的・自然的環境をも含んで検討されることが必要で、このような検討もグループの課題です。以上の2つを縦横の軸として、幅広い分野・層の方々の参加により、グループの活動が実り多くなることを希望します。

「モバイルコンピューティング」研究グループ新設について

（主査：水野忠則，幹事：岡田謙一，寺岡文男，森原一郎）

携帯情報機器の登場、コンピュータネットワークの普及により、いつでもどこでもネットワークにアクセスしながら自分のコンピュータで作業を行いたいというモバイルコンピューティングの利用形態がひろまっている。

本研究グループはこのようなコンピュータシステムの形態に関して、基礎となる理論・技術、通信プロトコル、コンピュータアーキテクチャ、オペレーティングシステム、アプリケーション、応用事例、管理運用、さらに社会科学的考察などについて研究していくことを目指している。

具体的な研究分野としては、(1) 移動体通信計算機環境（言語、OS、インタフェース等）、(2) 携帯端末（アーキテクチャ等）、(3) セキュリティ、(4) 移動体ネットワーク（アーキテクチャ、プロトコル、管理運用等）、(5) 無線ネットワーク（衛星通信、無線LAN等）、(6) 分散協調プロトコル、(7) ユービキタスコンピューティング、(8) モバイルアプリケーション、(9) モバイル社会システムなどがある。

平成8年度シンポジウム等行事予定一覧

平成8年度の主なシンポジウム等行事予定は以下のとおりです。詳細は順次本欄にてお知らせいたします。なお、期日・会場等が変更されることもありますので、ご注意ください。

平成8年1月12日現在

名 称	開 催 日	場 所
●情報処理学会通常総会	H8. 5.20 (月)	機械振興会館
◆1996 International Conference on Parallel and Distributed Systems(ICPADS'96) (DPS)	H8. 6. 3 (月) ~ 6 (木)	ホテルラダックス新宿
◆1996年並列処理シンポジウム (ARC 他)	H8. 6.18 (火) ~20 (木)	早稲田大学
◆第1回情報メディアワークショップ (IM)	H8. 7. 5 (金)	富士通
◆ワグジェット指向'96シンポジウム (SE)	H8. 7. 8 (月) ~ 9 (火)	早稲田大学
◆画像の認識・理解シンポジウム (CV)	H8. 7.17 (水) ~19 (金)	奈良県新公会堂
◆画像符合化及びネットワークセキュリティ・シンポジウム (AVM)	H8. 7	早稲田大学
◆DA シンポジウム'96 (DA)	H8. 8.29 (木) ~31 (土)	西浦温泉 (蒲郡)
○IFIP Congress'96-14th World Computer Congress	H8. 9. 2 (月) ~ 6 (金)	豪州キャンベラ
◇電気情報関連学会連合大会	H8. 9. 4 (水)	日本学術会議講堂
◇第53回全国大会	H8. 9. 4 (水) ~ 6 (金)	大阪工業大学
◆ドメイン分析シンポジウム (SE)	H8. 9.12 (木) ~13 (金)	上智大学
◆第6回情報メディア・シンポジウム (IM)	H8. 9.12 (木) ~13 (金)	工学院大学
◆マルチメディア通信と分散処理ワークショップ (DPS)	H8.10.23 (水) ~25 (金)	十和田
○第6回生産マネジメント・システム国際会議 (APMS'96)	H8.11. 4 (月) ~ 6 (水)	京都国際会館
○第4回ラフ集合・ファジィ集合・機械発見に関する国際会議 (RSFM'96)	H8.11. 6 (水) ~ 8 (金)	東京大学
◆コンピュータシステム・シンポジウム (OS)	H8.11. 7 (木) ~ 8 (金)	箱 根
◆産業空洞化と情報処理教育 (教育)	H8.11.22 (金)	未 定
◆第2回情報メディア・ワークショップ (IM)	H8.11.22 (金)	京 都
◆テレマティクス・シンポジウム (AVM)	H8.11	東 京
◆グループウェア'96シンポジウム (GW)	H8.11.28 (木) ~29 (金)	慶應義塾大学
◆アドバンスド・データベースシステム・シンポジウム (DBS)	H8.12. 2 (月) ~ 4 (水)	工学院大学
◆利用者指向の情報システム・シンポジウム (IS)	H8.12. 5 (木) ~ 6 (金)	東 京
◆問題発見とモデル化 - 現場の実例 - (MPS)	H8.12. 6 (金) ~ 7 (土)	機械振興会館
◆ウインターワークショップ (SE)	H9. 1.23 (木) ~24 (金)	未 定
◆分散システム運用技術シンポジウム'97 (DSM)	H9. 1.23 (木) ~24 (金)	工学院大学
◆1997年情報学シンポジウム (FI)	H9. 1	日本学術会議講堂
◆マルチメディア/マルチモーダル・インタフェース (HI)	H9. 2.13 (木)	早稲田大学

◆研究会主催 (英略称)

◇事業主催/プログラミング・シンポジウム

●総 会

○国際会議

情報処理学会「行事」申込書

(本申込書は、お一人1枚でお申し込みください。)

- ・ 行事 No., 参加費, 論文集代につきましては会告各行事欄をご参照ください。
- ・ 下記 A:(2)は主催研究会登録会員のみ該当します。
- ・ 欠席の場合も参加費は返金いたしません。
- ・ 会員の方は必ず会員 No.を記入してください。記入されていない場合は非会員とさせていただきます。

申込者 (該当を○してください)				
A : 会員/非会員	(1) 会員	(2) 研究会登録会員	(3) 学生	(4) 非会員
B : 会員 No.			C : ご氏名	
D : 勤務先			E : ご所属	
F : ご住所				
G : Tel.			H : Fax.	
I : e-mail				

送付先, 照会先などが異なる場合は下記に記入のこと	
J :	

申込行事		アンケート*宿泊付行事のみ記入 (部屋割参考)	
K : 行事 No.		O : 性別	(1) 女性 (2) 男性
L : 参加費	円	P : たばこ	(1) すう (2) すわない
M : 懇親会費	円	Q : 年齢	(1) 20 代 (2) 30 代 (3) 40 代 (4) 50 代以上
N-1 : 論文集のみ	円	R : 通信欄	
N-2 : 論文集のみ	冊		

S : 支払方法 (該当を○してください)	(1) 第一勧業銀行虎ノ門支店 普通 1013945 (月 日に送金予定) *	
	(2) 三菱銀行虎ノ公務部 普通 0000608 (月 日に送金予定) *	
	(3) 郵便振替 (00150-4-83484) (月 日に送金予定) *	
	(4) 当日持参	
	(5) 現金書留	
	[名義人はいずれも (社) 情報処理学会] * : 送金日が分かる場合, 記入のこと	
T : 送金名義人		
U-1 : 請求書 通	U-2 : 見積書 通	U-3 : 納品書 通
V : 請求書記載名義		
W : 送金に関する問合せ先		

申込先 (社) 情報処理学会 研究会/事業係
〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F
Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534 e-mail:sig@ipsj.or.jp (研究会・シンポジウム)
e-mail:jigyo@ipsj.or.jp (事業・全国大会・連続セミナー)
* e-mail での申込み: 各項目はカンマ (,) で区切り, (1) ... (5) は選択, その他は文字を記入のこと。
[例] A : (1), B : 9999999, C : 情報太郎, ... S : (1) (1月30日送金予定), T : 情報太郎, U-1 : 1, U-2 : 1, U-3 : 1, V : (株) ××電気, ...

「情報処理教育と数理系カリキュラムシンポジウム」参加者募集

理工学上の問題、特に情報工学・情報科学による解決を想定した問題は、問題のモデル化・定式化、問題解決の方針の設定、解決のためのシステムのアーキテクチャの検討、アルゴリズムとデータ構造の検討、インプリメント、等々の段階に沿って行われるのが普通です。これらの段階のうち、上流に近いものほど、検討が難しいとされております。

上流工程の自動化を目指す研究は、要求仕様技術、自動プログラミング技術、等々ソフトウェア工学の諸部門として発達してきました。また、上流工程全般の実践を学問として体系化しようとする試みは情報システム学として発達しつつあります。これら情報科学・情報システム学に対して数学・数理科学が深い関連を有しそれらの基礎となっていることは疑いありません。しかし、それらの間の関連がどのようなものであり、情報処理教育において数学・数理科学をどのように教えるかについての定説はまだ確立されておられません。

本学会は平成3～4年度に文部省から研究委託を受け、情報システム学のモデルカリキュラムに関する研究報告を発表しました。その報告では、情報システム学の教育に必要な数理系科目として、既存の数学系諸科目ではない数理モデル化を主眼とした新しい観点による科目群が提唱されており、それらを既存の数学諸科目で代用するのでは不十分であると述べられております。

本シンポジウムでは、小学校から大学に到る広範囲の教育機関における情報処理教育に必要な数理系科目をどのように実施すべきであるかについて、いろいろな立場からの意見を交換し、わが国の情報処理教育のレベルの向上を目指すものであります。

日 時 平成8年3月21日(木) 10:30～16:40

22日(金) 10:30～15:40

会 場 東京農工大学 工学部 多目的会議室(東京都小金井市) *参加申込の方には詳細を後日送付。

主 催 情報処理学会 数理モデル化と問題解決研究会

情報処理教育カリキュラム調査委員会

参 加 費 会員: 10,000 円 学生: 3,000 円 非会員: 15,000 円 (いずれも論文集代を含む)

論文集のみ 5,000 円 (送料込)

申込方法 本学会会報の行事申込書により郵送, Fax, または e-mail で送付のこと。

申込締切 平成8年3月7日(木) (定員になり次第締切)

申込/照会先 (社) 情報処理学会 シンポジウム係 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F
Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534 e-mail:sig@ipsj.or.jp

プ ロ グ ラ ム

3月21日(木)

[10:30～11:50]

(1) 「情報数学」という科目では何をどう教えるべきか?

川合英俊, 榊原 進, 江尻陽三郎, 高山文雄 (いわき明星大)

(2) 新しいシステムモデルの提案とその可能性の検討

古閑 政 (九州東海大)

[13:20～16:40]

(3) 特別講演: 数値実験を取り入れた数学教育

一松 信 (東京電機大)

(4) 微分積分を排除した情報学のための数学教育

磯道義典 (広島市立大)

(5) 大学教養科目としての代数教育

中村 憲 (都立大)

(6) 初等計算幾何学のためのデータ構造

白井千恵子, 二村良彦 (早大)

3月22日(金)

[10:30～12:00]

(7) 招待講演: 情報科学の基礎と OR(1)-モデル的思考のすすめ

若山邦紘 (法政大)

(8) 招待講演: 情報科学の基礎と OR(2)-モデル的思考のすすめ

柳井 浩 (慶大)

(9) 招待講演: 情報科学の基礎と OR(3)-モデルの効用

鈴木久敏 (筑波大)

[13:20～15:40]

(10) ペン入力によるドリル型 CAI のユーザインタフェース

曾谷俊男 (日本 IBM)

(11) 問題解決のためのシステム思考とモデリングの教育実践

大成幹彦 (東理大)

(12) 手計算およびプログラミングと物理実験による、情報系学生のための物理演習

野瀬 隆 (農工大)

行事 No. RS95

情報処理学会「連続セミナー 95」
 “集中から分散へ” “マスからパーソナルへ”
 参加者募集

現在、標記セミナーの最終回の参加者を下記のとおり募集しております。奮ってご応募願います。

記

会 場 工学院大学 3F 312 教室（東京都新宿区西新宿）
 締 切 定員（250 名、学生は 20 名）になり次第締め切ります。
 資 料 当日配布
 参 加 費 正・賛助会員 18,000 円 非会員 25,000 円 学生 2,500 円
 申込方法 本会告掲載の「行事申込書」または学会ホームページをご利用され（<http://www.ipsj.or.jp>）郵便、Fax.,
 e-mail でお申し込みください。

[第 6 回] 平成 8 年 3 月 22 日（金） 「生命科学とコンピュータ（仮題）」
 ・セッション 1 [10 : 00 ~ 11 : 15] 遺伝的アルゴリズムとその産業応用 松尾和洋（富士通）
 ・セッション 2 [11 : 30 ~ 12 : 45] 進化ロボット研究の現状と将来の産業応用 五味隆志（Applied AI Syst.）
 ・セッション 3 [14 : 00 ~ 15 : 15] 生命論パラダイムに基づく情報処理 下原勝憲（ATR）
 ・パネルディスカッション [15 : 30 ~ 17 : 30] 「生命論パラダイムは産業にどれだけインパクトを与えられるか？」
 コーディネータ：松尾和洋
 パネリスト：玉置 久（京大）、畝見達夫（創価大）、五味隆志、下原勝憲

*セッションの詳細等は、確定次第会告いたします。

*内容および日程、日時が多少変更される場合がございます。ご了承ください。

情報処理学会第 52 回全国大会（平成 8 年前期） の開催について

日 程 平成 8 年 3 月 6 日（水）～ 8 日（金）
会 場 電気通信大学（東京都調布市調布が丘）

講演件数 1098 件

プログラム 詳細は本号黄色のページに掲載してあります。交通・会場などはプログラムの会場案内図を参照してください。

○一般参加の方へ

1. 総受付 講堂（大学正門入り右手すぐ）
2. 参加費 会 員 4,000 円（会員番号を総受付でお申し出ください。賛助会員は 1 口 1 名として正会員に準じます。）
非会員 2,000 円（ただし、電気、電子情報通信、照明、テレビジョンの各学会会員は会員扱いとします。
会員番号を総受付でお申し出ください。）
学 生 無料（学生証を総受付でご提示ください）
3. 論文集（6 分冊）
定 価 各 6,000 円（予約は締切りました。当日お頒けできるのは、残部のある場合にかぎります。）
4. 懇親会 3 月 6 日（水）17：30～19：00 調布クレストンホテル（京王線調布駅北口パルコ 8F）

●参加される方は、受付にて参加費を納め、参加章を受けとってください。参加章のない方は会場に入れません。

○一般講演を行う方へ

1. 講演者は、講演の始まる前に、必ず総受付の講演者受付で、出席の確認を受けてください。
2. 講演者は、前の講演者の講演時間中に、座長席の前に設けられた「講演者控」で待機するようにしてください。
3. 一般講演の時間は、質疑を含め、15 分を原則とします（都合により 13 分のセッションもあります。）講演中でも時間がくれば打ち切ります。
4. 講演終了予定時刻の 5 分前および 3 分前に座長補佐がベルで合図します。
5. 講演の代読は認めません。
6. 講演のキャンセルは速やかにご連絡ください。

○奨励賞の表彰

3 月 6 日（水）開会式席上にて第 51 回全国大会（富山大開催）奨励賞の表彰を A 会場（講堂）で行います。

○その他の一般注意

1. 食堂、休憩室などはプログラムの会場案内図等を参照のこと。
2. 電話の呼出しはいたしません。（万一、やむを得ない場合のみ、伝言板に掲示します）
Tel. (0424)41-4218 Fax. (0424)41-0624
3. 駐車場がないので、自家用車による参加はできません。
4. 大会のご案内については、当学会ホームページ（<http://www.ipsj.or.jp>）において順次公開して参りますのでご覧ください。

第 52 回全国大会プログラム委員会委員

委員長 稲垣康善

副委員長 中森眞理雄

委員 萩谷昌己、田中克己、白鳥則郎、松下 温、竹林洋一、丹羽芳樹、橋田浩一、村瀬 洋、
池田克夫、寛 捷彦、菅野政孝、浜田穂積、増永良文、岩野和生、森田修三、船津剛男

第 52 回全国大会現地実行委員会（電通大）委員

委員長 浜田穂積

委員 弓場敏嗣、角田博保、高汐一紀

情報処理学会第 53 回全国大会（平成 8 年後期） の開催について

標記全国大会は平成 8 年 9 月 4 日（水）～ 6 日（金）に大阪府枚方市の大阪工業大学で開催されます。講演申込みは 3 月号に掲載いたします。

「DA シンポジウム '96」論文募集

設計自動化 (DA) 技術は、コンピュータ、VLSI など電子装置の進歩を支える重要技術のひとつとして、論理 DA、レイアウト DA、テスト DA といった各分野において発展を遂げ、多くの成果を生み出してきました。しかし、近年の電子装置の大規模・高性能化の進展もまた急であり、技術革新のニーズも大きく変容しつつあります。分野ごとの更なるブレークスルーが求められると共に、分野にまたがる最適化設計技術やソフトウェア、ハードウェアを統合的に扱う協調設計技術などへのニーズが高まっております。また、実際の設計に適用しての性能評価などにも関心が深まりつつあります。さらに設計言語、フレームワークなどの国際的な標準化活動も活発になってきております。

本シンポジウムではこうした DA 技術の進展に役立つため、最新の技術発表と国際的な技術動向情報の交換を目的として発表と討論の場を提供するものです。

日 程 平成 8 年 8 月 29 日 (木) ～ 31 日 (土)

会 場 西浦温泉 南風荘 (愛知県蒲郡市西浦町)

主 催 情報処理学会 設計自動化研究会

論文募集要項

- トピックス (予定)
- ・論理合成 (組み合わせ回路合成/最適化, ハイレベル合成など)
 - ・自動レイアウト (フロアプランニング, タイミングドリブンレイアウトなど)
 - ・テスト設計自動化 (テストパターン生成, テスト容易化設計など)
 - ・機能/論理/回路設計検証 (各種シミュレーション, 設計言語標準化など)
 - ・CAD フレームワーク (CAD ツール統合化, 設計工程管理, 設計システムなど)
 - ・システム設計 (ハードウェア/ソフトウェア協調設計, 特定用途向け CAD など)
 - ・設計事例 (マルチメディア LSI/機器の設計, プロセッサ設計, 大学での事例など)

- 応募方法
- (1) アブストラクト (A4 判用紙 1 枚程度, 投稿論文の分野も記入) に通常の研究発表申込書を添えて申込先まで郵送または持参してください。
 - (2) 採録された場合, 本論文は研究会発表形式で 6 ページとします。

- スケジュール
- (1) 論文 (アブストラクト) 応募締切: 平成 8 年 4 月 12 日 (金) 必着
 - (2) 採否通知 : 平成 8 年 5 月 31 日 (金)
 - (3) カメラレディ最終論文提出締切 : 平成 8 年 7 月 20 日 (土) 必着

会 費 正会員: 39,000 円 研究会登録会員: 34,000 円 学生: 20,000 円 非会員: 44,000 円
(いずれも論文集代, 宿泊費, 懇親会費を含む)

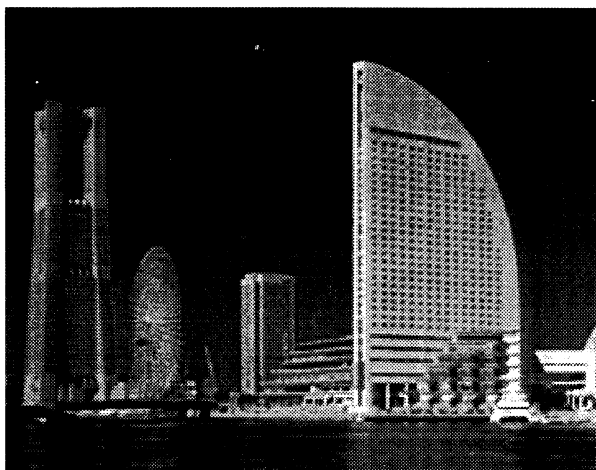
送/照会先 (社) 情報処理学会 シンポジウム係 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F
Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534 e-mail:sig@ipsj.or.jp

Call for Participation: Multimedia Japan 96

Pacifico YOKOHAMA, YOKOHAMA, JAPAN March 18-20 1996

主催 (社)情報処理学会 後援 日本経済新聞社

<http://www.sfc.wide.ad.jp/mmjapan96>



名誉委員長.....相磯秀夫(慶應義塾大学)

大会委員長.....鈴木則久(ソニー)

プログラム委員長、副委員長

..徳田英幸(慶應義塾大学)

..増永良文(図書館情報大学)

..松下温(慶應義塾大学)

..白鳥則郎(東北大学)

..田中譲(北海道大学)

本会議はマルチメディア時代のための実現技術を中心としたテクニカルセッションに、チュートリアル、招待講演、展示会を併設しております。(展示会だけの参加は無料です。)

招待講演 プログラム

Andy Hopper(Cambridge Univ.).....

"Modular Networked Multimedia"

John Spackman(Criterion Software Ltd.)....

"Real Time Texture Mapping Algorithms for PC"

藤原 洋(グラフィックス・コミュニケーション・ラボラトリーズ)

"マルチメディアのためのデータ圧縮技術の役割"

久多良木 健(ソニー・コンピュータ・エンターテインメント)

"The Cutting Edge of New Generation Game Console"

チュートリアル プログラム

Larry Masinter(Xerox Parc)

"Digital Libraries, Document Management and the WWW"

B. Fuhr(Florida Atlantic Univ.)

"Interactive Television Systems and Information Superhighways"

石田 晴久(東京大学)

"インターネットワークの最近の事情"

阪田 史郎(日本電気).....

"マルチメディア・ネットワークの基盤技術とサービス"

より詳しい情報は<http://www.sfc.wide.ad.jp/mmjapan96>をご覧ください。

テクニカルプログラム(48件)、展示(12社)などの情報も提供しております。

参加費用: 96/01/31まで 非会員50,000円 会員45,000円 学生15,000円

96/02/01以降 非会員55,000円 会員50,000円 学生20,000円

会員とは、情報処理学会、ACM、IEEEのいずれかの学会の会員のことを意味します。

参加費にはProceedings, Tutorials, Exhibition, Reception(3/19開催)の費用を含みます。(ただし、学生登録の場合は、Receptionを含みません。)

参加申し込みは、申し込みフォームをWWWホームページもしくは下記より御入手のうえ、指定の窓口に応じ申し込み下さい。

〒441 愛知県豊橋市天伯町字雲雀ヶ丘1-1 豊橋技術科学大学 情報工学系 梅村恭司

電話:0532-47-0111 FAX:0532-48-3422 MAIL:umemura@tutics.tut.ac.jp

MMJ96 Registration Form

Mail or Fax to: MMJ96@ICS-INC.CO.JP / Fax +81-3-3273-2445 (Tel:+81-3-3272-7981)

MMJ96 Registration Desk, Kasho-building, 2-14-9, Nihonbashi, Chuo-ku, Tokyo, 103 Japan

Given name _____ Surname _____

Affiliation(Univ., Company, etc.) _____ Office/Home _____

Mailing Address _____

City/State/Zip/Country _____

Phone _____ Fax _____ Email _____

IEEE/ACM/IPSJ/None _____ Membership# _____

Do you have special needs? _____

..... Registration Fee _____

Conference registration includes all events: Tutorials, Exhibitions, Proceedings and Reception. Students registration does not include Reception, Member Registration needs Membership #. Student registration should be confirmed by responsible advisor with signature: _____.

	Non-Members	IEEE/ACM/IPSJ Members	Full-time Students
Before Jan. 31	50,000Yen (_)	45,000Yen (_)	15,000Yen (_)
After Feb. 1	55,000Yen (_)	50,000Yen (_)	20,000Yen (_)
Additional Reception (on 3/19) Ticket (For spouse or students)	10,000Yen * (_). Fee: _____ (A)		

..... Hotel Accommodation _____

After your registration, if you need information or some change, please contact our official travel agent: JTB (Japan Travel Bureau), Inc. International Travel Division, Convention Center (Ref. CD100993-418)

5-5-2 Kiba, Koto-ku, Tokyo 135 Japan, Fax:+81-3-5620-9499 Tel:+81-3-5620-9429

<Hotel name>	<Telephone>	<single w/bath>	<Twin w/bath>
Yokohama Grand Intercontinental Hotel 1-1 Minato-Mirai, Nishi-ku, Yokohama 220.....Next to congress site	+81-45-223-2222	20,900Yen (_)	23,100Yen (_)
Breezebay Hotel 1-22-2 Hanasaki-cho, Naka-ku, Yokohama 231..... 13 Min. (Walk)	+81-45-253-5555	14,300Yen (_)	22,000Yen (_)
Isezakicho Washington Hotel 5-53 Chojamachi, Naka-ku, Yokohama 231 3 Min. (Subway) + 15 Min. (Walk)	+81-45-243-7111	8,500Yen (_)	16,000Yen (_)
San-ai Hotel Yokohama 3-95 Hanasaki-cho, Naka-ku, Yokohama 231 15 Min. (Walk)	+81-45-242-4411	7,500Yen (_)	13,000Yen (_)

Check-in: ____th March, Check-out: ____th March, Hotel name _____

Twin/Single _____, No. of room(s) _____ * one night rate = deposit _____ Yen (B)

Room rates do not include meals. 3% or 6% tax will be added to the bill. Reservation should be made by 31st, Jan. In the event of cancellation, written notification should be sent to JTB. The following cancellation fees will be deducted before refunding. Up to 9 days before the first night of stay: 2,000 Yen. 2 to 8 days before: 20 % of daily room charge (Minimum 2,000 Yen). Less than 2 days before , or no notification given: 100% of daily room charge.

..... Payment _____

Payment can be made by credit card or bank transfer. Total Fee (A) + (B) = _____ Yen

(_) I have remitted the total amount on _____ (date) by bank transfer through my bank

_____ (name of your bank) to the account of: The Bank of Tokyo, Marunouchi Branch 1-4-2, Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo Japan. A/C Name: MMJ96, A/C No. 1245082

[Please attach the copy of your certificate of payment with this form]

(_) Credit Card Visa/Master/Diners/Amex _____, Card# _____ Exp. Date _____

Cardholder's name(exactly as it appears on the card) _____ Signature _____

if invoice is needed, please supply the address to send. _____

Written requests for refunds must be reached us before Jan. 31, 1996. Refunds are subject to a 5,000Yen processing fee. All no-showregistrations will be billed in full. Registration after 11th-Marchwill be accepted on-site only. Receipts will be given out at the conference. If you have questions about the registration, please contact: umemura@tutics.tut.ac.jp: Tel:+81-532-47-0111 (Ext 524), Fax:+81-532-48-3422 Kyoji Umemura.

PRELIMINARY CALL FOR PAPERS



The 1996 Asia-Pacific Software Engineering Conference

December 4-7, 1996 Seoul, Korea

- Tutorial: Wednesday - December 4
- Conference: Thursday-Saturday - December 5-7

Sponsored and organized by Korea Information Science Society

Themes

The Objective of APSEC'96 is to bring together developers and researchers from industry, academia and governments to advance the science and technology in software engineering. The conference will address the following principal themes, but any topics relevant to the field of software engineering will also be considered:

Requirements Engineering, Specification, Analysis and Design, Testing, Maintenance, CASE, Software Metrics, Software Process, Reuse, Reverse Engineering, Object Orientation, Re-engineering, Distributed Systems, Domain Modeling, Formal Methods, Reliability, Information System Development, Project Management, Quality Assurance, Education, Software Development Environments, Cyberspace Systems.

Instructions to Authors

APSEC'96 Program Committee solicits original technical papers. All contributions will be reviewed and evaluated based on originality, technical quality, and relevance to software engineering.

Technical papers must be no longer than 6000 words. All papers must include a separate cover sheet which provides the following information: the title, authors names, postal and electronic mail addresses, telephone and fax numbers, a 200 words abstract and a list of keywords. Experience papers or practical papers are also welcome. Submitted papers must be written in English and identify what is new and significant about the presented work. Accepted papers will be published by an international publisher.

Six(6) copies of technical papers should be sent by April 30, 1996 to:

Kyo C. Kang
Dept. of Computer Science & Engineering

Pohang Univ. of Science & Technology
San 31 Hyoja-Dong, Pohang, Kyungbuk,
790-784, Korea

- Tel: +82 562 279 2258
- Fax: +82 562 279 2299
- E-mail: kck@vision.postech.ac.kr

Papers from Australia, Africa and Europe should be sent to:

Shing-Chi Cheung
Dept. of Computer Science
Hong Kong Univ. of Science & Technology
Clear Water Bay, Hong Kong
- Tel: +852 2358 7016
- Fax: +852 2358 1477
- E-mail: scc@cs.ust.hk

General Conference Committee

Conference Chair

Dr. Kisoo Sung
(President, TongMyong University of
Information Technology)

Program Co-Chairs

Kyo C. Kang
(Pohang Univ. of Science & Technology)
Shing-Chi Cheung
(Hong Kong Univ. of Science & Technology)

Organization Chair

Seung-Min Yang
(Soongsil University)

Local Arrangement

Ho-Won Jung
(Korea University)

Publication

Moon-Haeng Huh
(Korea Telecomm.)

Treasurer

Gyu-Sang Shin
(System Engineering Research Institute)

Program Committee

The Program Committee is to be announced; it will comprise industry and academic representation from a range of Asia-Pacific

representation from a range of Asia-Pacific regions including Australia, Hong Kong, Japan, Korea, Singapore and Taiwan.

Steering Committee Members

Ken-ichi Harada (Keio Univ., Japan)
Sadahiro Isoda (Toyohashi Univ. of Tech., Japan)
Stan Jarzabek (National Univ. of Singapore, Singapore)
Jyh-Sheng Ke (Inst. for Inf. Industry, Taiwan)
Yong Rae Kwon (KAIST, Korea)
Lin-shan Lee (Academia Sinica, Taiwan)
Karl Leung (Hong Kong Polytechnic Univ., Hong Kong)
Danny Poo (National Univ. of Singapore, Singapore)
Karl Reed (La Trobe Univ., Australia)
Vincent Shen (The Hong Kong Univ. of Science & Technology, Hong Kong)
Chi Su Wu (Seoul National Univ., Korea)

Tutorial Proposals

The Program Committee invites proposals for half day (3 hour) tutorials.
For further details, email *Keung Hae Lee* at khlee@hanul.hangkong.ac.kr

Important Dates

Submission Deadline	30 April 1996
Acceptance Notification	15 Aug. 1996
Camera-ready Copy Due	30 Sept. 1996

General Enquiries

General enquiries about APSEC'96 may be directed to:

Doo-Hwan Bae
Dept. of Information & Communication
Engineering
Korea Advanced Institute of Science & Technology (KAIST)
207-43 Cheongrangi, Dongdaemun, Seoul,
130-012, Korea
- Tel: +82 2 958 3313
- Fax: +82 2 960 2103
- E-mail: bae@poppy.kaist.ac.kr

会員の皆様へのお知らせ・お願い

平成8年度会費および論文誌購読費の納入について]

平成8年度会費および購読費の納付書(郵便振替用紙)を個人会員(一括扱い会員は除く)の方へ、先月中旬発送いたしましたのでご納入いただきますようよろしくお願いいたします。また、転居先不明、転送期間経過等の理由により返戻となり発送ができない会員の方々がいっぱいます。お近くに、納付書あるいは機関誌等が届いていないという会員の人がいらっしゃいましたら、至急事務局会員係までお知らせくださいますようお願いください。

新入会員勧誘のお願い]

情報処理に関心をお持ちの方、情報処理関連の学術研究あるいは事業に携わっている方で、お近くに入会ご希望の方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。電気・電子情報通信・照明・テレビジョン各学会員で在会証明書を入会申込書に添付した場合には、正会員入会金(2,000円)が免除となります。

なお、入会に関する詳しいご案内については、「入会のおすすめ」(3月・9月号巻末)または本会のWWWホームページ URL-<http://www.ipsj.or.jp> をご参照いただくか、必要部数ならびに送付先住所をご記入のうえ下記宛にご請求ください(FAX, e-mail可)。

会費および購読費の口座自動払込制度のご案内]

会費および購読費のご納入には、手続きが簡単で便利な自動払込制度をご利用ください。個人会員の方で銀行あるいは郵便局に口座をお持ちのかたならどなたでも登録できます。詳細につきましては12月号(会告27頁)をご参照ください。

機関誌等の送付先変更について]

2月から5月にかけては、就職・進学・転勤・引越し等会員の異動があるため、機関誌等の返戻が多数発生いたします。送付先住所等に変更が生じた場合には、早急に「変更連絡届」(学会誌偶数月号巻末添付)等書面にて下記宛にご連絡ください(FAX, e-mail可)。毎月20日締切で、翌月号から変更となります。また、会員登録データの追加、変更も同様にご連絡願います。

退会について]

退会を希望される方は、会員番号・氏名・退会年月・退会希望の旨とその理由を明記したものを書面等にて下記宛にご連絡ください(FAX, e-mail可)。

なお、会費および論文誌購読費未納の方には別途退会精算の振込用紙を送付いたしますので、送付先住所等に変更がある場合には併記願います。

連絡/照会先 情報処理学会 会員係

〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル7F

TEL(03)5484-3535 FAX(03)5484-3534

e-mail:mem@ipsj.or.jp

「人材募集欄」のお知らせ

現在、本誌では一般広告頁の求人広告とは別に、会告欄に教育研究機関からの「教官募集」を掲載していますが、これに加えて、賛助会員企業からの人材募集についても受け付けることとしました。

掲載ご希望の各位は下記の要領でお申し込みください。

記

利 用 者 国公立教育機関、国公立研究機関、賛助会員

記載事項 1. 機関名、企業名
2. 採用予定職種・人数
3. 着任時期
4. 専門分野、応募資格
5. 提出書類
6. 応募締切
7. 連絡先（氏名、所属、住所、電話番号など）

スペース 標準 10行

掲 載 料	国公立教育機関、国公立研究機関	20,000 円
	賛助会員（企業）	30,000 円

そ の 他 以下の記事は掲載できません。また、編集上の都合により原文のまま掲載できないことがありますので、ご了承ください。

1. 企業あるいは商品広告をかねた記事
2. 誇大内容と思われる記事
3. その他学会の品位を傷つけるおそれのある記事

申込／照会先 （社）情報処理学会 学会誌編集係
〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F
Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534 e-mail:editj@ipsj.or.jp

支部だより

情報処理学会地方支部連絡先

北海道支部 〒060 北海道札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学工学部情報工学科内
Tel.(011)706-6819 Fax.(011)706-6819 e-mail:saito@huie.hokudai.ac.jp

東北支部 〒980 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 東北大学大学院情報科学研究科内
Tel.(022)263-9437 Fax.(028)263-9437 e-mail:nakao@ecei.tohoku.ac.jp

東海支部 〒460 愛知県名古屋市中区錦2-17-21 NTT DATA 東銀ビル NTT データ通信(株)東海支社内
Tel.(052)204-4517 Fax.(052)204-4521

北陸支部 〒930 富山県富山市五福3190 富山大学工学部電子情報工学科内
Tel.(0764)41-1271(ext.2707) Fax.(0764)41-8432 e-mail:hirose@ecs.toyama-u.ac.jp

関西支部 〒530 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8F (財)関西情報センター気付
Tel.(06)346-2543 Fax.(06)346-2443 e-mail:infor-soci@kiis.or.jp

中国支部 〒739 広島県東広島市鏡山1-4-1 広島大学工学部第2類(電気系)内
Tel.(0824)24-7663 Fax.(0824)22-7195 e-mail:nakamura@eml.hiroshima-u.ac.jp

四国支部 〒770 徳島県徳島市南常三島町2-1 徳島大学工学部知能情報工学科内
Tel.(0886)56-7496 Fax.(0886)23-2761 e-mail:kita@is.tokushima-u.ac.jp

九州支部 〒812 福岡県福岡市博多区博多駅前1-17-21 NTT DATA 博多駅前ビル
NTT データ通信(株)九州支社総務担当内
Tel.(092)475-5123 Fax.(092)475-5185 e-mail:rin@is.kyushu-u.ac.jp

東海支部 講習会 「開発現場におけるソフトウェアの生産性」

日時 平成8年3月18日(月)
会場 NTT データ通信(株)東海支社2階研修室(名古屋市中区錦2-17-21 NTT DATA 東銀ビル Tel.(052)204-4517)
プログラム

10:20~10:30 開催挨拶(東海支部長) 三重大学 工学部 三宅康二氏
10:30~12:00 ソフトウェア開発の生産性の向上について 中部大学経営情報学部 竹下 亮氏
13:20~14:20 トヨタ自動車におけるソフトウェア開発事例 トヨタ自動車(株) 山並靖幸氏
14:30~15:30 日立におけるソフトウェア開発事例(仮題)(株)日立製作所システム研究所 大槻 繁氏
15:45~16:45 ソフトウェア品質向上技術の取組み事例

(株)東芝システム・ソフトウェア生産技術研究所 松村一夫氏
コーディネータ:名古屋大学大学院工学研究科 阿草清滋氏

定員 100名(定員になり次第締切ります)
参加費 主催正会員および共催正・賛助会員 7,000円 主催賛助 5,000円 学生 3,000円 一般 10,000円
テキストのみ 2,000円

申込方法 ハガキまたはFaxに「講習会申込み」と標記し、(1)氏名、(2)勤務先(所属)、(3)連絡先(住所・Tel・Fax)、(4)所属学協会名を明記してお申込み下さい。折り返しFaxにて参加証をお送りします。参加証確認後、下記いずれかの方法で送金して下さい。なお、テキストは当日受付にてお渡しします。

送金方法 ・銀行振込(申込の際に「銀行振込」と必ず明記のこと)
さくら銀行名古屋支店 普通預金 口座番号 5589017 情報処理学会東海支部
・現金書留(上記申込内容を適当な用紙に記入し同封のこと)

申込み/照会先 情報処理学会東海支部事務局

主催 情報処理学会東海支部

共催 電気学会東海支部、電子情報通信学会東海支部、コンピュータ応用技術協会、中部エレクトロニクス振興会、東海インターネットワーク協議会、経営情報学会東海支部

北陸支部 見学会

日時 平成8年3月22日(金) 15:00~16:20

見学先 富山県マルチメディア情報センター並びに情報工房
(富山市高田527 富山県総合情報センター内 Tel.0764-32-8885)

集合場所 現地(富山県総合情報センター1階玄関ロビー)(JR富山駅からは路面電車「大学前行」に乗車、「新富山」で下車(15分170円)、徒歩約15分 タクシーでは15分約1,200円)

参加資格 情報処理学会会員

参加費 無料

申込締切 3月15日(金) TelまたはFaxでお申し込み下さい。

申込/照会先 情報処理学会北陸支部

人材募集



●（財）高輝度光科学研究センター放射光研究所

- 募集人員 (1) 技術系職員 3 名, (2) 研究系および技術系職員 10 名
- 所 属 (1) (財) 高輝度光科学研究センター放射光研究所加速器部門, (2) 同利用促進部門
- 専門分野 (1) 蓄積リングの真空機器の建設および装置維持・改善等, ビーム診断系機器に必要な高周波回路の設計開発等, ネットワークによる加速器機器の分散制御システムに関するハードウェアの設計・開発
(2) 共用ビームライン施設を中心とする建設業務, 光学系機器の開発研究, ビーム輸送系の建設, 検出器の開発研究および実験ステーションに設置される測定機器などの設計製作。
- 応募資格 (1) 大学卒業, または同等以上の経験を有する方, (2) 研究系は大学院修士課程修了, または同等以上の経験を有する方。技術系は大学卒業, または同等以上の経験を有する方
- 着任時期 平成 8 年 6 月 1 日以降
- 提出書類 (1) 履歴書 (希望分野を明記), 研究歴あるいは技術歴 (A4 用紙で 2 枚以下), 業績リスト, 本人に関する推薦書 (自薦可。ただし, 自薦の場合は本人について所見を求めうる人 2 名の氏名と連絡先を明記), 最終学歴の卒業または修了証明書
(2) 履歴書 (希望分野を明記, 実験ステーションに応募の場合は下記に問合せの上, 希望ステーションを明記すること), 研究歴あるいは技術歴 (A4 用紙で 2 枚以下), 業績リスト (研究系は主要論文別刷), 放射光研究所での研究計画, 本人に関する推薦書 (自薦可。ただし, 自薦の場合は本人について所見を求めうる人 2 名の氏名と連絡先を明記), 最終学歴の卒業または修了証明書
- 応募締切 平成 8 年 3 月 29 日必着
- 送 付 先 〒 678-12 兵庫県赤穂郡上郡町 SPring-8 リング棟 A 棟 (財) 高輝度光科学研究センター 人事課
- 照 会 先 (1) 放射光研究所 加速器部門部門長 熊谷教孝 Tel.(07915)8-0861 Fax.(07915)8-0870
(2) 放射光研究所 利用促進部門部門長 植木龍夫 Tel.(07915)8-0832 Fax.(07915)8-0830
(不在時は, 理化学研究所生物物理研究室: Tel.(048)462-1111(ext. 3471) Fax.(048)462-4646)

●国際基督教大学教養学部理学科

- 募集人員 教授または助教授 1 名
- 専門分野 計算機システムおよびソフトウェアに関連した分野
- 応募資格 博士号を持ち, 50 歳代前半まで, 大学院 (修士課程) を担当できる方
- 着任時期 遅くとも平成 9 年 4 月までに着任できる方
- 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷, 今までの研究の概要, 本人に関する所見をお尋ねできる方 3 名の氏名と連絡先, 本人のキリスト教信仰についてお尋ねできる牧師またはこれに準ずる方の氏名と連絡先
(所定の履歴書書式を下記照会先までご請求下さい)
- 応募締切 平成 8 年 4 月 15 日
- 送 付 先 〒 181 東京都三鷹市大沢 3-10-2 国際基督教大学理学科 田中武二 「教員応募書類在中」と朱書き書留
- 照 会 先 田中武二 Tel.(0422) 33-3293 Fax.(0422)33-1449 e-mail: takeji@icu.ac.jp

●上智大学理工学部電気・電子工学科

募集人員 講師または助教授 1 名
 専門分野 通信工学
 応募資格 工学博士の学位を有し、年齢 40 歳未満であることが望ましい
 着任時期 平成 9 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書、健康診断書、業績リスト（著者名、論文題名、雑誌名、巻数、年、ページを記載）、主要論文別刷 5 編以内（各 2 部づつ）、推薦書（指導教員またはこれに準ずる方）、当方から応募者の人物・能力についてご意見を求めることができる方 2 名の所属・職・氏名・連絡先
 応募締切 平成 8 年 4 月 30 日
 送付先／照会先 〒102 東京都千代田区紀尾井町 7-1 上智大学理工学部電気・電子工学科
 Tel.(03)3238-3320 「教員応募書類」と朱書き書留

●（社）情報処理学会事務局職員

募集人員 事務局職員 1 名
 所 属 総務部システム企画
 応募資格 システム開発経験者で、UNIX、ネットワーク、パソコンの利用技術に精通しており、事務局の業務に熱意のある方。4 年制大学卒業、年齢 27 歳まで
 採用条件 学会規定による（公務員に準ず）
 着任時期 平成 8 年 4 月以降
 提出書類 履歴書、成績表、他
 応募締切 平成 8 年 3 月 15 日
 送付先 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F （社）情報処理学会 総務部長 杉山 昌二
 照会先 Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534 e-mail:sugiyama@ipsj.or.jp

雑 報

○平成 8 年度 技術士試験（国家試験）—技術士法に基づく技術士第二次試験—

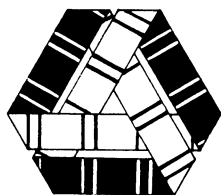
試験科目 19 技術部門の内、情報工学部門は（1）必須科目 | 情報工学一般 （2）選択科目 | 情報システム、情報数理および知識処理、情報応用、電子計算機システム（1 科目選択）です。

受付期間 平成 8 年 3 月 25 日（月）～4 月 5 日（金）予定（土曜日・日曜日を除く）

受験資格、試験日程・場所等の詳細は下記に問合せてください。

〒105 東京都港区虎ノ門 4-1-20 田中山ビル 8F（社）日本技術士会 技術士試験センター Tel.(03)3459-1333（代）

会議案内



各会議末のコードは、整理番号です（*：本年既掲載分，**：昨年既掲載分）。会議の詳細を知りたい方は、学会国際係へ切手 90 円を同封のうえ、請求ください。（国内連絡先が記載されている場合は除く。） ○：本会主催・共催 ◆：本会協賛

1.開催日 2.会場 3.照会先 4.その他

【国際会議】

◆APEC 研究開発情報化シンポジウム（6007）

1. 1996 年 3 月 27 日（水）～ 28 日（木） 2. つくばエキスポセンター（つくば市）
3. 科学技術庁科学技術振興局 加藤，遼山 Tel.(03)3581-5271 (ext.554,555)

【国内会議】

◆第 20 回ロボット・ビデオフェスティバル

1. 平成 8 年 2 月 15 日（木）（東京），23 日（金）（大阪） 2. 日刊工業新聞社ホール（東京都千代田区），コスモ証券ホール（大阪市中央区）
3. （社）日本ロボット工業会 Tel.(03)3434-2919

◆脳機能情報処理（ブレインウェア）ワークショップ

1. 平成 8 年 2 月 19 日（月） 2. 工業技術院筑波研究センター共用講堂（つくば市）
3. （財）新機能素子研究開発協会 Tel.(03)3423-1621

◆テレビジョン学会講習会「最新のディスプレイ技術—基礎理論から各種方式の最新の技術動向およびその動向—」

1. 平成 8 年 3 月 4 日（水）～ 5 日（火） 2. 機械振興会館（東京都港区）
3. テレビジョン学会 Tel.(03)3432-4677 KFH00255@niftyserve.or.jp

◆SICE セミナー VSS 制御理論—スライディングモード制御—

1. 平成 8 年 4 月 17 日（水）～ 18 日（木） 2. 東工大百年記念館（東京都目黒区） 3. （社）計測自動制御学会
- Tel.(03)3814-4121

◆96 スイッチング電源システム展・シンポジウム

1. 平成 8 年 4 月 17 日（水）～ 19 日（金） 2. 幕張メッセ（千葉県美浜区） 3. 事務局（（社）日本能率協会内）
- Tel.(03)3434-1391

◆96 教育総合機器・システム展

1. 平成 8 年 4 月 24 日（水）～ 26 日（金） 2. 幕張メッセ（千葉県美浜区） 3. 日刊工業新聞社イベント局開発部
- Tel.(03)3222-7162

◆計測連合シンポジウム 先端計測 96

1. 平成 8 年 5 月 22 日（水）～ 23 日（木） 2. 日本学会会議講堂（東京都港区） 3. 大園成夫（東大工学部）
- Tel.(03)3812-2111(ext.6451)

◆第 17 回光波センシング技術研究会

1. 平成 8 年 6 月 18 日（火）～ 19 日（水） 2. 大宮ソニックシティ（大宮市） 3. 福井（㈱連企画内） Tel.(03)3391-9587

◆日本医学物理学会第 13 回研究発表会

1. 平成 8 年 7 月 22 日（月）～ 24 日（水） 2. 阪大銀杏会館（吹田市） 3. 事務局 稲邑清也（阪大医学部）
- Tel.(06)855-1281(ext.261) i64640a@center.osaka-u.ac.jp

◆Dynamics & Design Conference96

1. 平成 8 年 8 月 5 日（月）～ 9 日（金） 2. 福岡工大（福岡市） 3. （社）日本機械学会 Tel.(03)5360-3500

◆平成 8 年電気学会電子・情報・システム部門大会

1. 平成 8 年 9 月 5 日（木）～ 6 日（金） 2. 同志社大 田辺キャンパス（京都府田辺町） 3. （社）電気学会 Tel.(03)3201-0983

◆第 12 回ヒューマンインタフェースシンポジウム

1. 平成 8 年 10 月 22 日（火）～ 25 日（金） 2. ワークピア横浜（横浜市中区） 3. 林康恵（京都工繊大） Tel.(075)701-7391
- <http://www-hio.dj.kit.ac.jp/hio-2.html>

◆第 14 回日本ロボット学会 学術講演会

1. 平成 8 年 11 月 1 日（金）～ 3 日（日） 2. 新潟大工学部（新潟市） 3. （社）日本ロボット学会 Tel.(03)3812-7594
- robot96@info.eng.niigata-u.ac.jp